
離島架橋調査報告書

基礎調査2

—離島架橋に関する離島住民アンケート調査—

平成17年3月

全国離島振興鳥羽協議会

「はじめに」

新たな離島振興法は、関係各位のご協力・ご支援により、平成25年3月までの10年間の時限立法として、平成15年4月に施行されました。

今回の法改正に伴う離島振興計画については、地方分権の流れの中で地域における創意工夫を生かしつつ、その自立的発展を促進するため、国が離島振興の基本方針を定め、都道府県は市町村振興計画の案に基づき作成するとされました。

このことから、計画案の作成にあたっては、島民の方々と膝を交えた意見交換会を行うとともに、離島振興計画策定委員会の開催やパブリックコメントを実施するなど、島民の意見を最大限反映してきました。

新しい計画内容については、まず離島振興の基本方針を定めるとともに、その方針に沿って目指すべき目標として、「離島の有する特性を積極的に生かした自立的発展のできる島づくり」「生きがいを持って安心快適に生活することができる島づくり」を明らかにしています。

これまでの鳥羽市の離島振興施策は、漁港整備を中心に推進されてきましたが、新しい三重県離島振興計画では、交通分野において、島民の悲願である「離島架橋」が初めて明記されております。

島民が切望する離島架橋は、架橋ありきから、「島づくり」「まちづくり」への基本的スタンスが前提にあって、架橋の必要性を掲げる時代へと変化してきております。

このような状況を踏まえ、今回の離島住民アンケート調査は、島民の方々の離島架橋に対する考え方・要望を調査するとともに、架橋への再認識と動機付けを行いながら、架橋の必要性をより一層、浸透させ、今後、設立を検討している（仮）離島架橋建設促進協議会へと結び、離島架橋の建設促進を図るための一助とすることを目的に実施いたしました。

(目 次)

「アンケート調査の配布数と回収数」

●回答者自身について

問1－(1)	あなたの性別は	1
問1－(2)	あなたの年齢は	1
問1－(3)	あなたのお住まいの地区は	1
問1－(4)	あなたの居住年数は	2
問1－(5)	あなたのご家族は何人家族ですか	2
問1－(6)	あなたの職業は	3
問1－(7)	昼間における日常生活は本土と離島のどちらですか	3

●ご家族について

問2	同居されているご家族の中で、島外等に通勤・通学されている方は	4
----	--------------------------------	---

●島の暮らしについて

問3	あなたは、現在の島の暮らしにどの程度満足していますか	6
問4	あなたは、島の暮らしの中で何を最も大事にしたいですか	7
問5	あなたの島が本土の都市に比べてすぐれているものは	8
問6	あなたの島が本土の都市に比べておこなっているものは	9

●架橋と島づくりについて

問7	交通や生活面においては、どの基盤の整備が必要ですか	10
問8	観光・交流、産業においては、どの基盤の整備が必要ですか	11
問9	架橋についてのあなたのお考えは	12
問10	問9で反対、どちらともいえないとお答えした方のお考えは	27
問11	離島架橋が実現した場合、どのような分野で良い効果が期待されますか	13
問12	離島架橋が実現した場合、どのような分野で悪い影響がありますか	14
問13	水産業は、離島架橋によりどのような効果があるとお考えですか	15
問14	離島に架橋を行う際、是非とも留意すべき点は	16
問15	離島住民を中心とした(仮)離島架橋促進協議会の組織が必要ですか	17
問16	あなたの住む島のキャッチフレーズは	18
問17	離島架橋をアピールするための町づくりのアイデアは	19
問18	離島架橋についてのご意見	20

資料（1）

記述集計結果

問 2-(1)通勤先の、その他市町村名は	2 5
問 2-(2)通学先の、その他市町村名は	2 5
問 4 でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 5 すぐれているものの 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 5 すぐれているものの 2 位でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 5 すぐれているものの 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 6 おくれているものの 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 6 おくれているものの 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 7 必要な基盤整備の 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 5
問 7 必要な基盤整備の 2 位でその他と答えた方、その内容は	2 6
問 7 必要な基盤整備の 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 6
問 8 必要な基盤整備の 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 7
問 8 必要な基盤整備の 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 7
問 10 問 9 で反対、どちらともいえないと答えた方のご意見	2 7
問 11 効果を期待する分野の 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 8
問 11 効果を期待する分野の 2 位でその他と答えた方、その内容は	2 8
問 11 効果を期待する分野の 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 8
問 12 影響の高いものの 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 9
問 12 影響の高いものの 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 9
問 13 水産業における効果の 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 9
問 13 水産業における効果の 3 位でその他と答えた方、その内容は	2 9
問 14 離島架橋に留意する点の 1 位でその他と答えた方、その内容は	2 9
問 14 離島架橋に留意する点の 2 位でその他と答えた方、その内容は	2 9
問 16 あなたの住む島のキャッチフレーズは	2 9
問 17 離島架橋をアピールできるまちづくりのアイデアは	3 2
問 18 離島架橋についてのご意見	3 8

資料（2）

離島架橋に関する離島住民アンケート（調査様式）	4 6
まとめ	5 4

「アンケート調査の配布数と回収数」

今回のアンケート調査の配布数とその回収数は以下のとおりである。

全体の回収結果は、合計46%と半数の島民から意見を聞くことができた。菅島の88%、坂手島の60%の順で高く、特に答志島に所属する、答志町・答志町和具・桃取町の回収数が低いのが目立っている。

今回の調査回収においては、各町内会に依頼したところであるが、年度末で大変忙しい中を協力いただいた中でこのような結果になったものと推測する。架橋建設については、神島を除く各離島の住民の多くが切望しているところであり、各島での“離島架橋に対する温度差”というものがあって、回収率に表れたものではないものと考えられる。

アンケート結果の詳細についてこれ以降、具体的に述べていくこととするが、これは、あくまでも“回収された部数のみ”から判断していることを付記します。

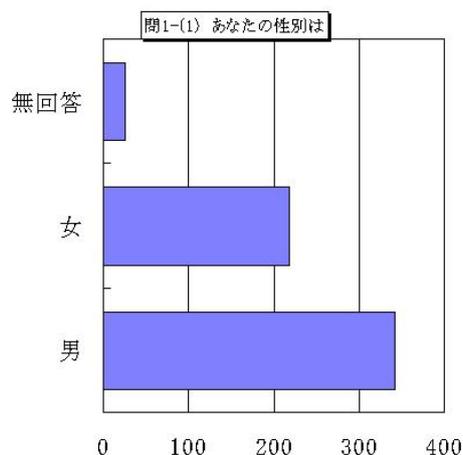
	答志町	答志町和具	桃取町	菅島町	坂手町	合計
配布数	356	153	261	215	291	1276
回収数	83	38	100	190	174	585
回収率	23%	25%	38%	88%	60%	46%
整理番号	1001-1083	1301-1338	1601-1700	3001-3190	2001-2174	

●回答者自身について

問1-(1) あなたの性別は

選択項目	人数	構成比
男	342	58.5%
女	218	37.3%
無回答	25	4.3%
合計	585	100.0%

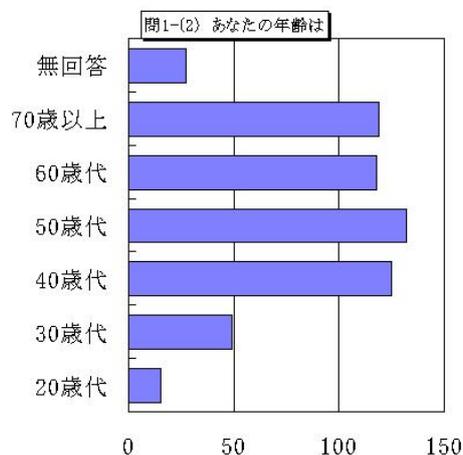
男性が342人、女性が218人で男性の回答者が60%弱を占めており、白紙の無回答が25人であった。



問1-(2) あなたの年齢は

選択項目	人数	構成比
20歳代	15	2.6%
30歳代	49	8.4%
40歳代	125	21.4%
50歳代	132	22.6%
60歳代	118	20.2%
70歳以上	119	20.3%
無回答	27	4.6%
合計	585	100.0%

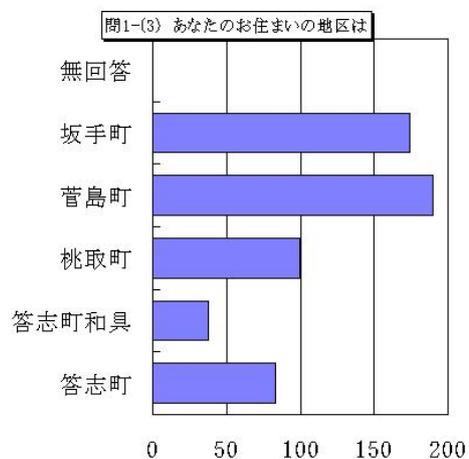
回答者の年齢では、40歳台～70歳台の方がそれぞれ20%強を占めている。



問1-(3) あなたのお住まいの地区は

選択項目	人数	構成比
答志町	83	14.2%
答志町和具	38	6.5%
桃取町	100	17.1%
菅島町	190	32.5%
坂手町	174	29.7%
無回答	0	0.0%
合計	585	100.0%

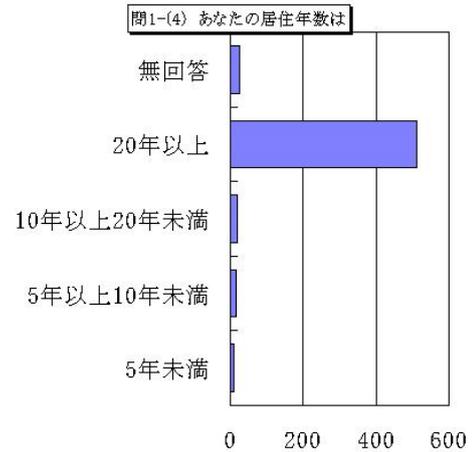
一番多い菅島の190人をはじめ、坂手町の174人、次いで桃取町の100人、答志町の83人、答志町和具の38人となっている。



問1-(4) あなたの居住年数は

選択項目	人数	構成比
5年未満	10	1.7%
5年以上10年未満	16	2.7%
10年以上20年未満	20	3.4%
20年以上	513	87.7%
無回答	26	4.4%
合計	585	100.0%

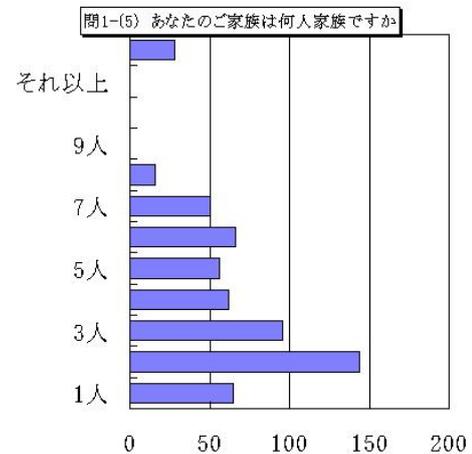
居住年数では、20年以上が全体の87.7%と、地元で生活をしている方の回答者が多くなっている。



問1-(5) あなたのご家族は何人家族ですか

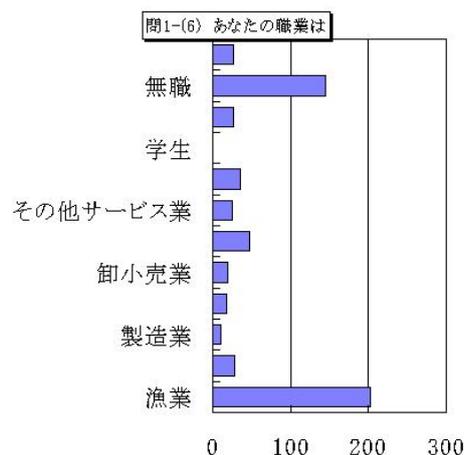
選択項目	人数	構成比
1人	65	11.1%
2人	144	24.6%
3人	96	16.4%
4人	62	10.6%
5人	56	9.6%
6人	66	11.3%
7人	50	8.5%
8人	16	2.7%
9人	1	0.2%
10人	0	0.0%
それ以上	1	0.2%
無回答	28	4.8%
合計	585	100.0%

世帯構成では、2人世帯が144人の24.6%と最も多く、次いで3人世帯、6人世帯、1人世帯、4人世帯の順になっており、10人を超える世帯が1世帯あった。



問1-(6) あなたの職業は

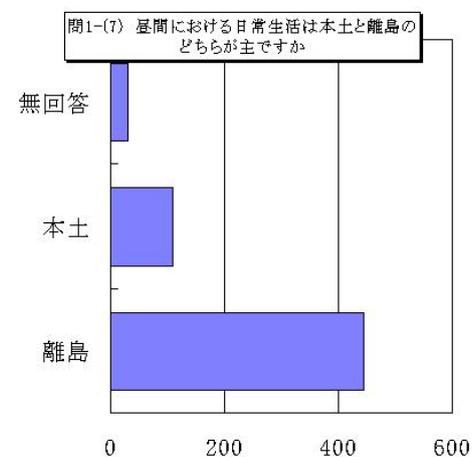
選択項目	人数	構成比
漁業	202	34.5%
飲食・宿泊業	28	4.8%
製造業	11	1.9%
建設業	18	3.1%
卸小売業	19	3.2%
サラリーマン	47	8.0%
その他サービス業	25	4.3%
パート	36	6.2%
学生	0	0.0%
その他	27	4.6%
無職	145	24.8%
無回答	27	4.6%
合計	585	100.0%



漁業に従事する方が202人の34.5%と最も多く、次いで無職の145人、24.8%、サラリーマンの47人の順となっている。

問1-(7) 昼間における日常生活は本土と離島のどちらが主ですか

選択項目	人数	構成比
離島	444	75.9%
本土	110	18.8%
無回答	31	5.3%
合計	585	100.0%



回答者585人のうち75.9%が昼間の生活を島で営んでおり、残りの20%弱がサラリーマン、パートなどで本土を主としている。

●ご家族について

問2(1) ご家族が通勤されている方の人数は

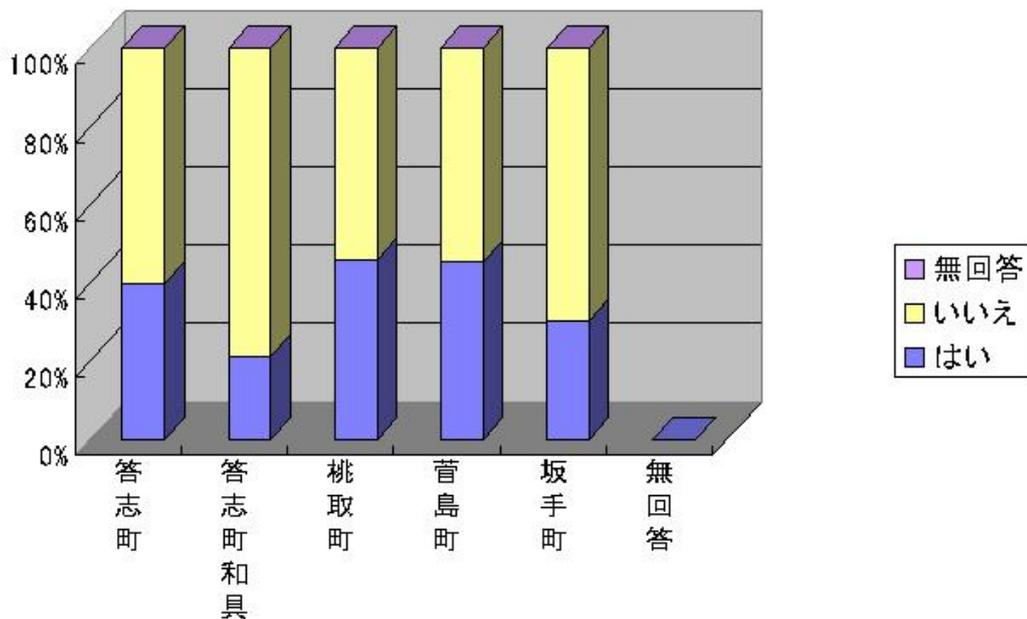
1. 鳥羽市内 { 人} 2. 伊勢市内 { 人} 3. 志摩市内 { 人}
 4. 市内離島 { 人} 5. その他 {市町村名：() 人}

通勤に関する質問についての分析を以下のように行った。また、集計の段階で記入のあるものについては“はい”ないものについては“いいえ”として集計を行った。

「ご家族で島外に通勤されている方はいますか」の関係

選択項目	総計		答志町		答志町和具		桃取町		菅島町		坂手町		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
はい	226	38.6%	33	39.8%	8	21.1%	46	46.0%	86	45.3%	53	30.5%	0	
いいえ	359	61.4%	50	60.2%	30	78.9%	54	54.0%	104	54.7%	121	69.5%	0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	585	100.0%	83	100.0%	38	100.0%	100	100.0%	190	100.0%	174	100.0%	0	

「あなたのお住まいの地区は」と「ご家族で島外に通勤されている方はいますか」の関係



島外通勤者に関する質問項目“問2(1)”については、全体でみると約40%の家庭で島外に通勤している。地区毎に見ると、桃取町が46%と最も多く、菅島町45.3%、答志町39.8%、坂手町30.5%、答志町和具21.1%と続いており、就業の場を島外へ求めていることが伺える。

島外の通勤先としては、鳥羽市内と回答した方は167人、伊勢市内59人、市内離島24人となり、鳥羽市内への依存が高くなっている。

同様に、通学に関する“問2(2)”についても分析を行った結果、次のような結果となった。

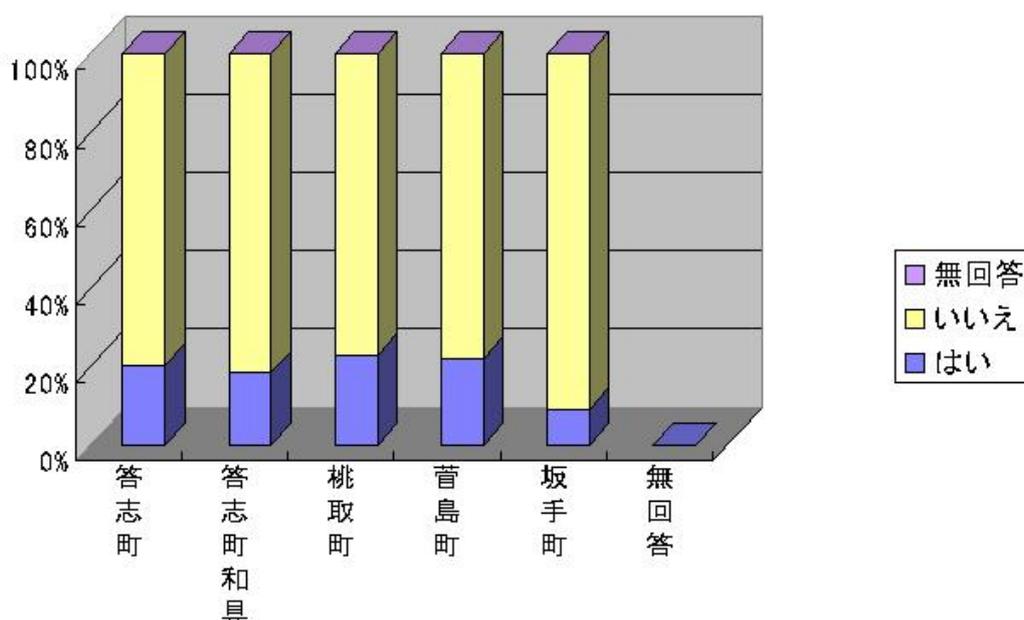
問2 (2) ご家族が通学されている方の人数は

1. 鳥羽市内 { 人} 2. 伊勢市内 { 人} 3. 志摩市内 { 人}
 4. 市内離島 { 人} 5. その他 {市町村名：() 人}

「ご家族で島外に通学されている方はいますか」の関係

選択項目	総計		答志町		答志町和具		桃取町		菅島町		坂手町		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
はい	105	17.9%	17	20.5%	7	18.4%	23	23.0%	42	22.1%	16	9.2%	0	
いいえ	480	82.1%	66	79.5%	31	81.6%	77	77.0%	148	77.9%	158	90.8%	0	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	585	100.0%	83	100.0%	38	100.0%	100	100.0%	190	100.0%	174	100.0%	0	

「あなたのお住まいの地区は」と「ご家族で島外に通学されている方はいますか」の関係



通学に関してしてみると、通勤に比べ大幅に島外依存の傾向は下がる。これは、島外への通学者が高校生と中学生(答志島以外)に限られることによると思われるが、質問項目に“通学者”としたため、下宿等、週末以外は本土で生活している学生が含まれていない可能性もあり、今回の調査では正確な人数が得られなかったと判断される。

通勤・通学についての問題点は、記述回答の中に現れており、クラブ活動ができない、交通費・下宿等の費用がかさむ、残業が出来ない、悪天候時の船便欠航等があげられている。これらは主に、船便利用による時間的な制約と常時通行が出来ないという事に起因している。

●島の暮らしについて

問3. あなたは、現在の島の暮らしについて、どの程度満足していますか。(〇印1つ)

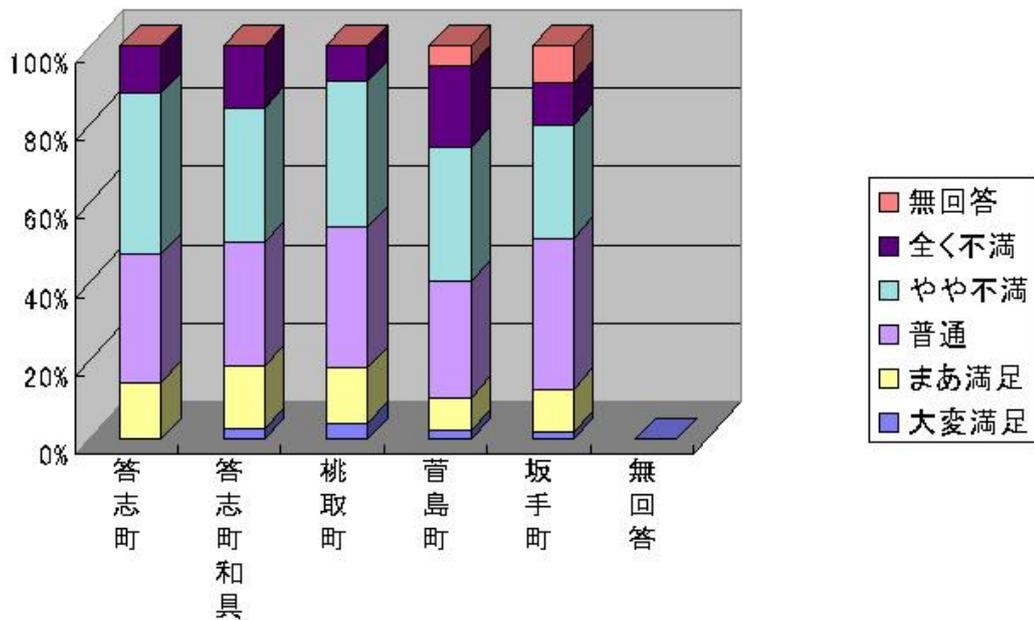
1. 大変満足 2. まあ満足 3. 普通 4. やや不満 5. 全く不満

“問3”島の暮らしについての満足度に関する質問では、以下の結果となった。

「あなたのお住まいの地区は」と「あなたは現在の島の暮らしに満足していますか」の関係

選択項目	総計		答志町		答志町和具		桃取町		菅島町		坂手町		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
大変満足	12	2.1%	0	0.0%	1	2.6%	4	4.0%	4	2.1%	3	1.7%	0	
まあ満足	67	11.5%	12	14.5%	6	15.8%	14	14.0%	16	8.4%	19	10.9%	0	
普通	198	33.8%	27	32.5%	12	31.6%	36	36.0%	56	29.5%	67	38.5%	0	
やや不満	199	34.0%	34	41.0%	13	34.2%	37	37.0%	65	34.2%	50	28.7%	0	
全く不満	83	14.2%	10	12.0%	6	15.8%	9	9.0%	39	20.5%	19	10.9%	0	
無回答	26	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	5.3%	16	9.2%	0	
合計	585	100.0%	83	100.0%	38	100.0%	100	100.0%	190	100.0%	174	100.0%	0	

「あなたのお住まいの地区は」と「あなたは現在の島の暮らしに満足していますか」の関係



全体的にみると大変満足から普通までの合計は 47.4%、やや不満から全く不満が 48.2%、無回答が 4.4%となっている。

地区毎にみると、坂手町(普通 38.5%)以外は全てやや不満が最も多く、島の暮らしについて何らかの不満があるものと推測される。

問4. あなたは、島の暮らしの中で何を最も大事にしたいですか。(〇印1つ)

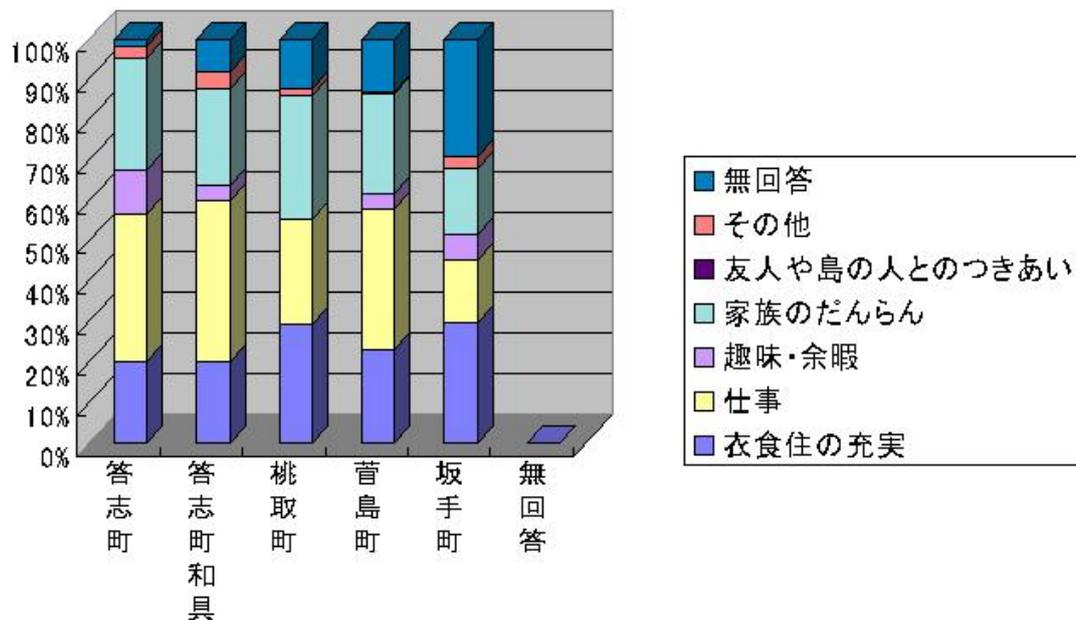
1. 衣食住の充実 2. 仕事 3. 趣味・余暇 4. 家族のだんらん
5. 友人や島の人とのつきあい 6. その他()

“問4”島の暮らしで最も大事にしたいものに関する質問では、以下の結果となった。

「あなたのお住まいの地区は」と「島の暮らしの中で何を最も大事にしたいですか」の関係

選択項目	総計		答志町		答志町和具		桃取町		菅島町		坂手町		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
衣食住の充実	102	17.4%	13	15.7%	5	13.2%	19	19.0%	36	18.9%	29	16.7%	0	
仕事	120	20.5%	24	28.9%	10	26.3%	17	17.0%	54	28.4%	15	8.6%	0	
趣味・余暇	20	3.4%	7	8.4%	1	2.6%	0	0.0%	6	3.2%	6	3.4%	0	
家族のだんらん	98	16.8%	18	21.7%	6	15.8%	20	20.0%	38	20.0%	16	9.2%	0	
友人や島の人とのつきあい	178	30.4%	18	21.7%	13	34.2%	35	35.0%	35	18.4%	77	44.3%	0	
その他	8	1.4%	2	2.4%	1	2.6%	1	1.0%	1	0.5%	3	1.7%	0	
無回答	59	10.1%	1	1.2%	2	5.3%	8	8.0%	20	10.5%	28	16.1%	0	
合計	585	100.0%	83	100.0%	38	100.0%	100	100.0%	190	100.0%	174	100.0%	0	

「あなたのお住まいの地区は」と「島の暮らしの中で何を最も大事にしたいですか」の関係



地区毎に順位は異なるものの、各地区での多いものをあげると、答志町と菅島町では「仕事」を最も大事とする意見が多く、答志町和具、桃取町、坂手町においては、「友人や島の人とのつきあい」を重要視している。次いで、「衣食住の充実」「家族のだんらん」の順に続いている。

問5. あなたの島が本土の都市に比べてすぐれていると思うものは何ですか。最もすぐれていると思うものから順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

1. 自然環境 2. 人間関係 3. 歴史的文化遺産 4. 新鮮な魚貝類
 5. 教育環境 6. 犯罪が少ない 7. 騒音・公害がない
 8. その他 ()

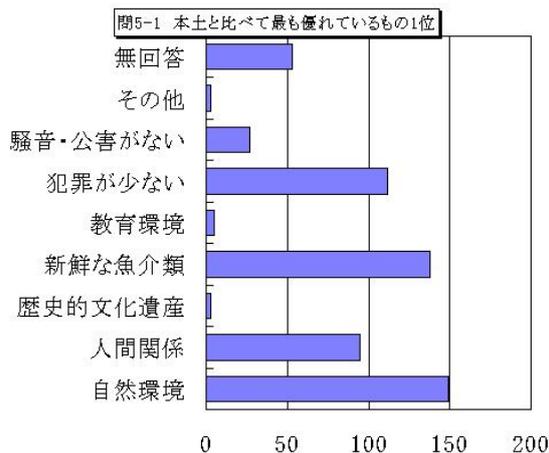
最もすぐれているもの→

1位	2位	3位

“問5”本土の都市に比べてすぐれているものに関する質問は以下の結果となった。

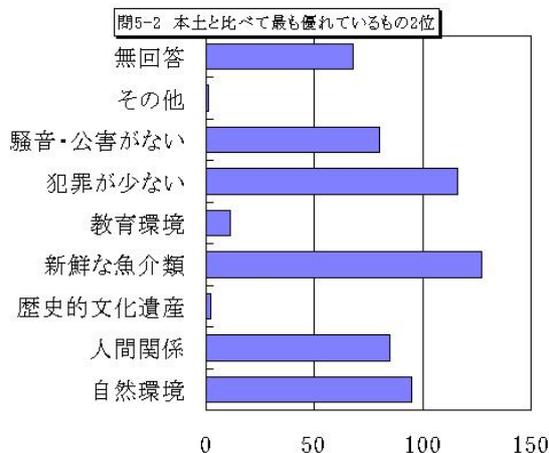
○すぐれているものの1位

選択項目	人数	構成比
自然環境	149	25.5%
人間関係	95	16.2%
歴史的文化遺産	3	0.5%
新鮮な魚介類	138	23.6%
教育環境	5	0.9%
犯罪が少ない	112	19.1%
騒音・公害がない	27	4.6%
その他	3	0.5%
無回答	53	9.1%
合計	585	100.0%



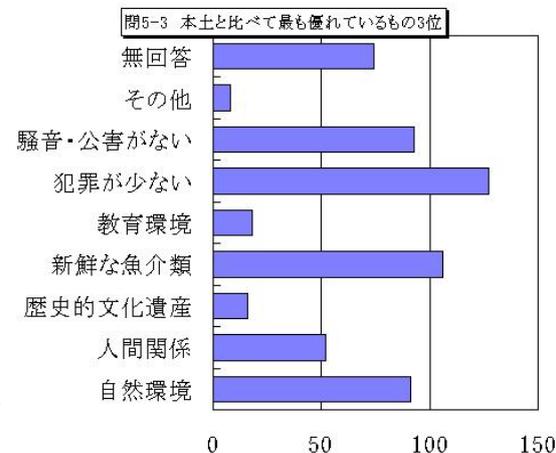
○すぐれているものの2位

選択項目	人数	構成比
自然環境	95	16.2%
人間関係	85	14.5%
歴史的文化遺産	2	0.3%
新鮮な魚介類	127	21.7%
教育環境	11	1.9%
犯罪が少ない	116	19.8%
騒音・公害がない	80	13.7%
その他	1	0.2%
無回答	68	11.6%
合計	585	100.0%



○すぐれているものの3位

選択項目	人数	構成比
自然環境	91	15.6%
人間関係	52	8.9%
歴史的文化遺産	16	2.7%
新鮮な魚介類	106	18.1%
教育環境	18	3.1%
犯罪が少ない	127	21.7%
騒音・公害がない	93	15.9%
その他	8	1.4%
無回答	74	12.6%
合計	585	100.0%



本土と比べてすぐれているものとして、1位で「自然環境」2位「新鮮な魚介類」3位「犯罪が少ない」の順となっている。

問6. あなたの島が本土の都市に比べておこなれていると思うものは何ですか。最もおこなれていると思うものから順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

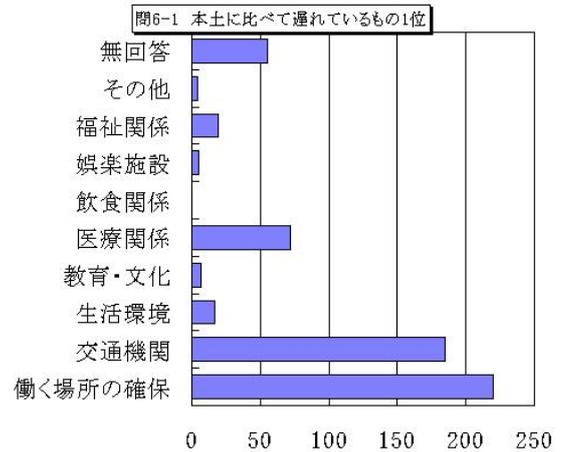
1. 働く場所の確保 2. 交通機関 3. 生活環境 4. 教育・文化
 5. 医療関係 6. 飲食関係 7. 娯楽施設 8. 福祉関係
 9. その他 ()
 最もおこなれているもの→

1位	2位	3位

“問6” 本土の都市に比べておこなれているものに関する質問は以下の結果となった。

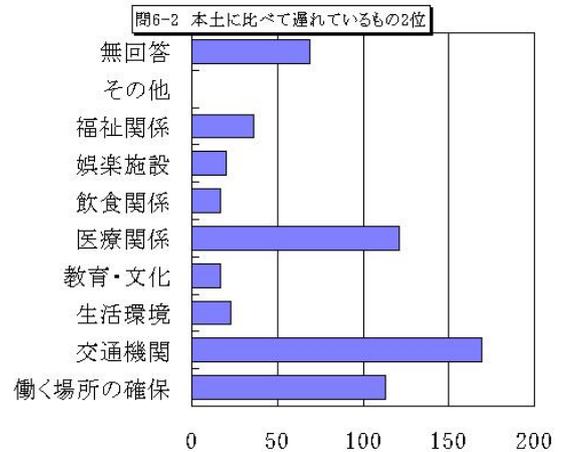
○おこなれているものの1位

選択項目	人数	構成比
働く場所の確保	220	37.6%
交通機関	185	31.6%
生活環境	17	2.9%
教育・文化	7	1.2%
医療関係	72	12.3%
飲食関係	1	0.2%
娯楽施設	5	0.9%
福祉関係	19	3.2%
その他	4	0.7%
無回答	55	9.4%
合計	585	100.0%



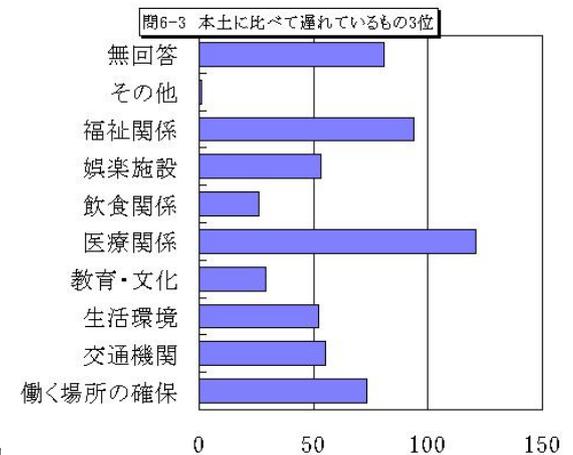
○おこなれているものの2位

選択項目	人数	構成比
働く場所の確保	113	19.3%
交通機関	169	28.9%
生活環境	23	3.9%
教育・文化	17	2.9%
医療関係	121	20.7%
飲食関係	17	2.9%
娯楽施設	20	3.4%
福祉関係	36	6.2%
その他	0	0.0%
無回答	69	11.8%
合計	585	100.0%



○おこなれているものの3位

選択項目	人数	構成比
働く場所の確保	73	12.5%
交通機関	55	9.4%
生活環境	52	8.9%
教育・文化	29	5.0%
医療関係	121	20.7%
飲食関係	26	4.4%
娯楽施設	53	9.1%
福祉関係	94	16.1%
その他	1	0.2%
無回答	81	13.8%
合計	585	100.0%



本土と比べておこなれているものとして、1位で「働く場所の確保」2位「交通機関」3位「医療関係」の順となっている。

●架橋と島づくりについて

問7. 現在またはこれまでのあなたのまちにおける交通や生活面においては、どの基盤の整備が必要であるとお考えですか。最も期待の高いものから順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1. 島内道路の整備 | 2. 駐車場の整備 | 3. 案内施設の整備 |
| 4. 公共トイレの整備 | 5. 下水道の整備 | 6. ごみ処理施設整備 |
| 7. その他（ | | ） |

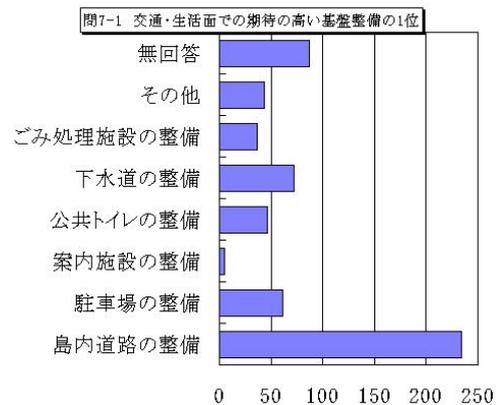
整備を必要とする基盤→

1位	2位	3位

“問7” 交通や生活面での基盤整備に関する質問は以下の結果となった。

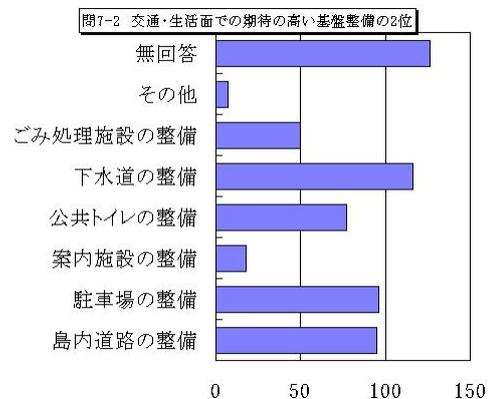
○必要な基盤整備の1位

選択項目	人数	構成比
島内道路の整備	234	40.0%
駐車場の整備	61	10.4%
案内施設の整備	5	0.9%
公共トイレの整備	46	7.9%
下水道の整備	72	12.3%
ごみ処理施設の整備	37	6.3%
その他	43	7.4%
無回答	87	14.9%
合計	585	100.0%



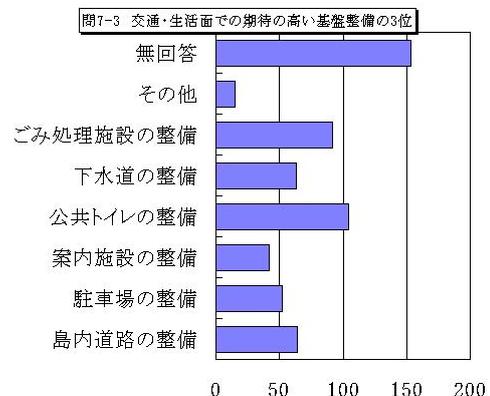
○必要な基盤整備の2位

選択項目	人数	構成比
島内道路の整備	95	16.2%
駐車場の整備	96	16.4%
案内施設の整備	18	3.1%
公共トイレの整備	77	13.2%
下水道の整備	116	19.8%
ごみ処理施設の整備	50	8.5%
その他	7	1.2%
無回答	126	21.5%
合計	585	100.0%



○必要な基盤整備の3位

選択項目	人数	構成比
島内道路の整備	64	10.9%
駐車場の整備	52	8.9%
案内施設の整備	42	7.2%
公共トイレの整備	104	17.8%
下水道の整備	63	10.8%
ごみ処理施設の整備	92	15.7%
その他	15	2.6%
無回答	153	26.2%
合計	585	100.0%



交通や生活面でどの基盤整備が必要であるかに対し、1位で

「島内道路」2位「下水道」3位「公共トイレ」の順となっている。

(無回答を除く)

問9. 離島振興計画案の作成時に実施した、島民との意見交換会などでは、離島架橋を望む声が多かったのですが、架橋について、あなたのお考えをお聞かせください。当てはまる番号に○をつけてください。

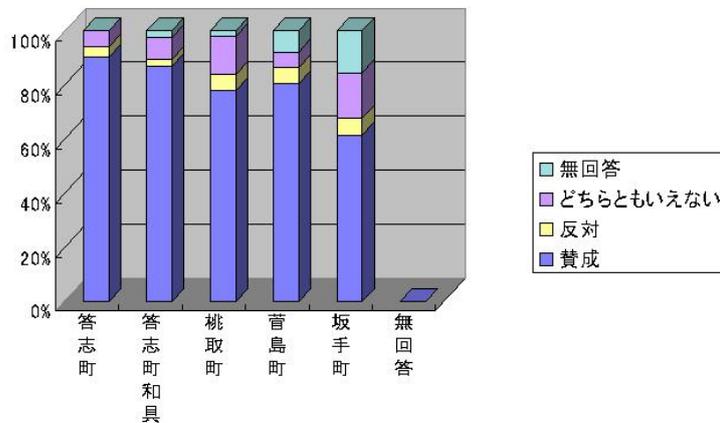
1. 賛成 2. 反対 3. どちらともいえない

“問9” 離島架橋の賛否に関する質問は以下の結果となった。

「離島架橋についての考え」の関係

選択項目	総計		答志町		答志町和具		桃取町		菅島町		坂手町		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賛成	446	76.2%	75	90.4%	33	86.8%	78	78.0%	153	80.5%	107	61.5%	0	
反対	32	5.5%	3	3.6%	1	2.6%	6	6.0%	11	5.8%	11	6.3%	0	
どちらともいえない	62	10.6%	5	6.0%	3	7.9%	14	14.0%	11	5.8%	29	16.7%	0	
無回答	45	7.7%	0	0.0%	1	2.6%	2	2.0%	15	7.9%	27	15.5%	0	
合計	585	100.0%	83	100.0%	38	100.0%	100	100.0%	190	100.0%	174	100.0%	0	

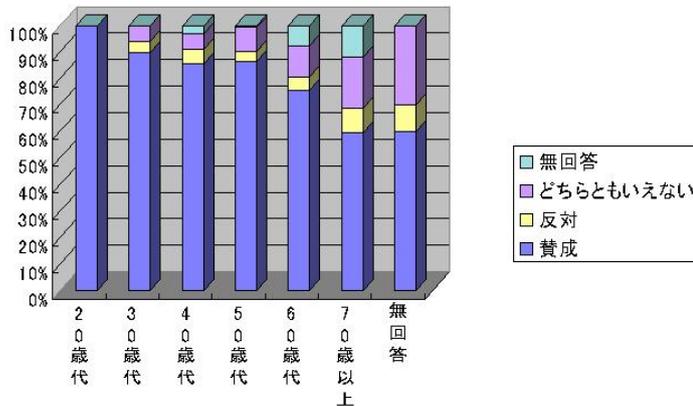
「あなたのお住まいの地区は」と「離島架橋についての考え」の関係



「あなたの年齢は」と「離島架橋についての考え」の関係

選択項目	総計		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賛成	446	76.2%	15	100.0%	44	89.8%	107	85.6%	114	86.4%	89	75.4%	71	59.7%	6	22.2%
反対	32	5.5%	0	0.0%	2	4.1%	7	5.6%	5	3.8%	6	5.1%	11	9.2%	1	3.7%
どちらともいえない	62	10.6%	0	0.0%	3	6.1%	7	5.6%	12	9.1%	14	11.9%	23	19.3%	3	11.1%
無回答	45	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.2%	1	0.8%	9	7.6%	14	11.8%	17	63.0%
合計	585	100.0%	15	100.0%	49	100.0%	125	100.0%	132	100.0%	118	100.0%	119	100.0%	27	100.0%

「あなたの年齢は」と「離島架橋についての考え」の関係



全体では、賛成：76.2%、反対5.5%、どちらともいえない10.6%、無回答7.7%となっている。また、年齢層が高まるにつれて、賛成以外の意見の占める割合も高まる傾向にある。賛成以外の意見の主な理由としては、事故・犯罪の増加、人口減少、環境破壊等を危惧する意見が多い。

問 11. 離島架橋が実現した場合、どのような分野での良い効果が期待されますか。最も期待の高いものから順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

1. 買い物、医療等住民の暮らしにおける利便性の向上
2. 通勤・通学の利便性の向上
3. 水産業の振興
4. 商業の振興
5. 観光の振興
6. 人口の定着、Uターン・Iターンの増加
7. 高度医療機関の利用
8. 緊急交通手段の確保
9. 消防・防災機能の強化
10. その他

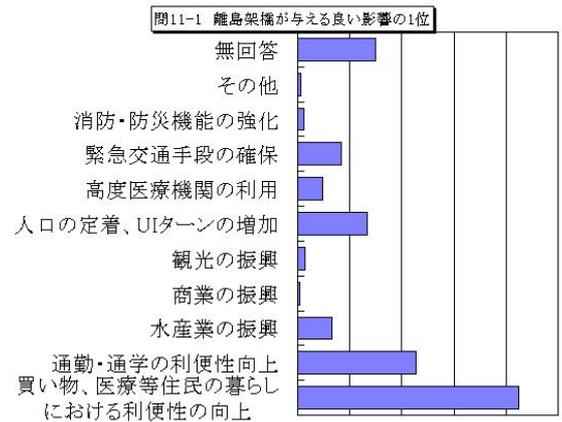
効果を期待する分野 →

1位	2位	3位

“問 11” 離島架橋が与える良い効果に関する質問は以下の結果となった。

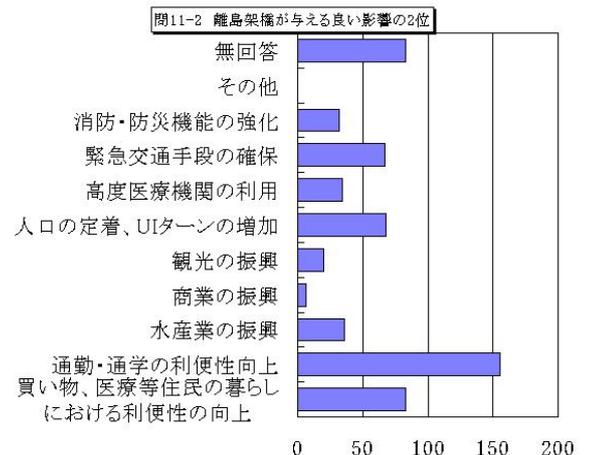
○期待される効果の1位

選択項目	人数	構成比
買い物、医療等住民の暮らしにおける利便性の向上	212	36.2%
通勤・通学の利便性向上	114	19.5%
水産業の振興	33	5.6%
商業の振興	2	0.3%
観光の振興	7	1.2%
人口の定着、UIターンの増加	67	11.5%
高度医療機関の利用	24	4.1%
緊急交通手段の確保	42	7.2%
消防・防災機能の強化	6	1.0%
その他	3	0.5%
無回答	75	12.8%
合計	585	100.0%



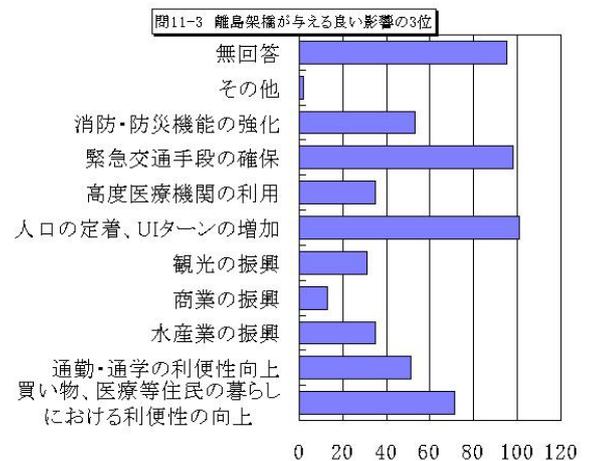
○期待される効果の2位

選択項目	人数	構成比
買い物、医療等住民の暮らしにおける利便性の向上	83	14.2%
通勤・通学の利便性向上	155	26.5%
水産業の振興	36	6.2%
商業の振興	6	1.0%
観光の振興	20	3.4%
人口の定着、UIターンの増加	68	11.6%
高度医療機関の利用	34	5.8%
緊急交通手段の確保	67	11.5%
消防・防災機能の強化	32	5.5%
その他	1	0.2%
無回答	83	14.2%
合計	585	100.0%



○期待される効果の3位

選択項目	人数	構成比
買い物、医療等住民の暮らしにおける利便性の向上	71	12.1%
通勤・通学の利便性向上	51	8.7%
水産業の振興	35	6.0%
商業の振興	13	2.2%
観光の振興	31	5.3%
人口の定着、UIターンの増加	101	17.3%
高度医療機関の利用	35	6.0%
緊急交通手段の確保	98	16.8%
消防・防災機能の強化	53	9.1%
その他	2	0.3%
無回答	95	16.2%
合計	585	100.0%



離島架橋の効果として、1位で「買い物等の利便性」2位「通勤等の利便性」3位「人口の定着等」の順になっている。

問 12. 離島架橋が実現した場合、島にどのような悪い影響があるとお考えですか。最も影響の高いと思われる順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1. 島内への交通量の増加 | 2. 犯罪の増加 | 3. 本土への人口流出 |
| 4. 交通事故の増加 | 5. 本土への買物客の流出 | 6. 自然環境の破壊 |
| 7. 乱開発の増加 | 8. 地域コミュニティの低下 | |
| 9. その他 () | | |

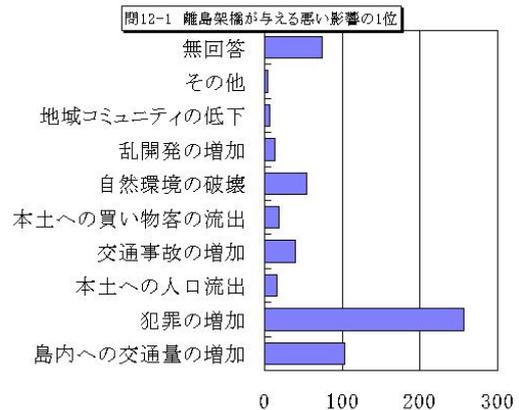
影響の高いもの →

1位	2位	3位

「問 12」離島架橋が与える悪い影響に関する質問は以下の結果となった。

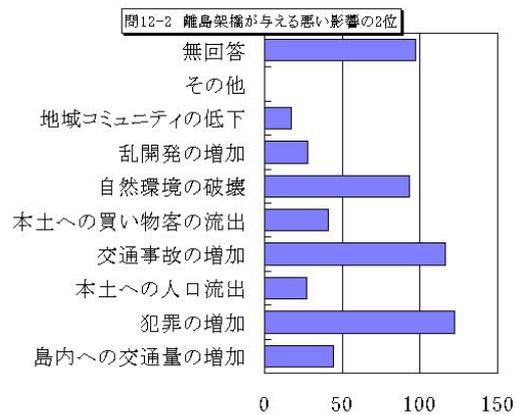
○影響の高いものの1位

選択項目	人数	構成比
島内への交通量の増加	103	17.6%
犯罪の増加	257	43.9%
本土への人口流出	16	2.7%
交通事故の増加	39	6.7%
本土への買物客の流出	19	3.2%
自然環境の破壊	54	9.2%
乱開発の増加	13	2.2%
地域コミュニティの低下	6	1.0%
その他	4	0.7%
無回答	74	12.6%
合計	585	100.0%



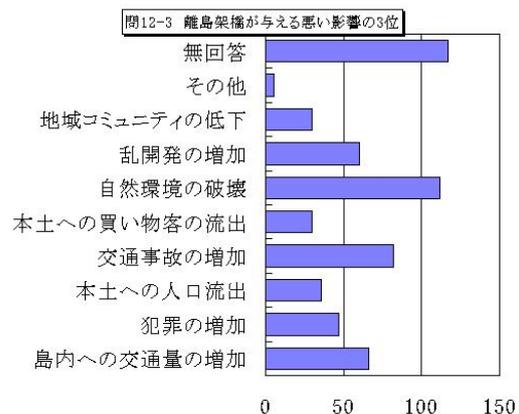
○影響の高いものの2位

選択項目	人数	構成比
島内への交通量の増加	44	7.5%
犯罪の増加	122	20.9%
本土への人口流出	27	4.6%
交通事故の増加	116	19.8%
本土への買物客の流出	41	7.0%
自然環境の破壊	93	15.9%
乱開発の増加	28	4.8%
地域コミュニティの低下	17	2.9%
その他	0	0.0%
無回答	97	16.6%
合計	585	100.0%



○影響の高いものの3位

選択項目	人数	構成比
島内への交通量の増加	66	11.3%
犯罪の増加	47	8.0%
本土への人口流出	36	6.2%
交通事故の増加	82	14.0%
本土への買物客の流出	30	5.1%
自然環境の破壊	112	19.1%
乱開発の増加	60	10.3%
地域コミュニティの低下	30	5.1%
その他	5	0.9%
無回答	117	20.0%
合計	585	100.0%



離島架橋の実現で最も影響のあるものとして、1位で

「犯罪の増加」2位も「犯罪の増加」3位「自然環境の破壊」の順になっている。

問13. 水産業においては、離島架橋によりどのような効果が上がるとお考えですか。最も期待の高いものから順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

1. 出荷・資材等購入における輸送コストの低減
2. 出荷時間の制約の解消
3. 出荷時間の短縮
4. 陸路輸送による出荷の安定性の確保
5. 新たな出荷市場等の開拓
6. 宅配便等を利用した新たな販売手段の導入
7. 出荷量・生産額の増大
8. 経営規模の大型化
9. 特に効果はない
10. その他 ()

水産業における効果 →

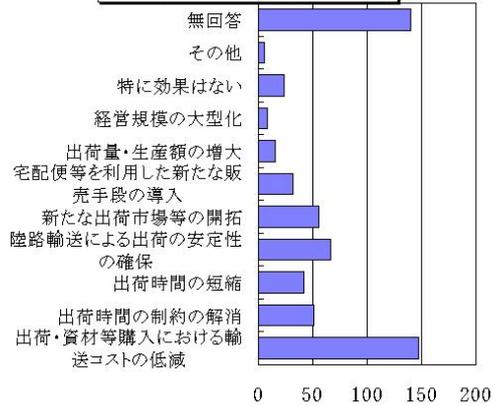
1位	2位	3位

“問13” 離島架橋が水産業に与える効果に関する質問は以下の結果となった。

○期待の高いものの1位

選択項目	人数	構成比
出荷・資材等購入における輸送コストの低減	147	25.1%
出荷時間の制約の解消	51	8.7%
出荷時間の短縮	42	7.2%
陸路輸送による出荷の安定性の確保	66	11.3%
新たな出荷市場等の開拓	55	9.4%
宅配便等を利用した新たな販売手段の導入	32	5.5%
出荷量・生産額の増大	15	2.6%
経営規模の大型化	8	1.4%
特に効果はない	24	4.1%
その他	5	0.9%
無回答	140	23.9%
合計	585	100.0%

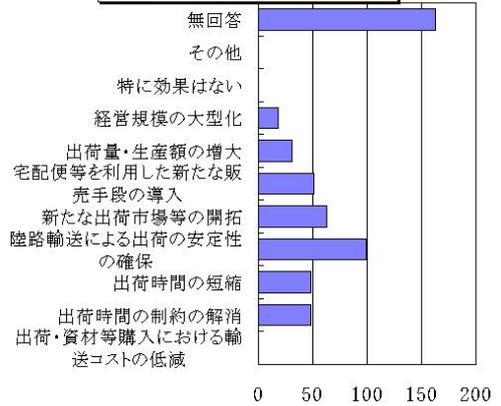
問13-1 離島架橋が水産業へ与える効果の1位



○期待の高いものの2位

選択項目	人数	構成比
出荷・資材等購入における輸送コストの低減	63	10.8%
出荷時間の制約の解消	48	8.2%
出荷時間の短縮	48	8.2%
陸路輸送による出荷の安定性の確保	99	16.9%
新たな出荷市場等の開拓	63	10.8%
宅配便等を利用した新たな販売手段の導入	51	8.7%
出荷量・生産額の増大	31	5.3%
経営規模の大型化	18	3.1%
特に効果はない	1	0.2%
その他	0	0.0%
無回答	163	27.9%
合計	585	100.0%

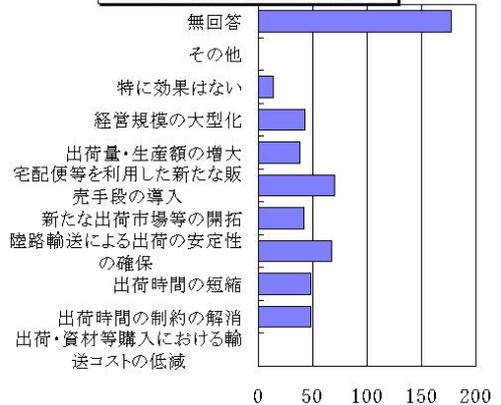
問13-2 離島架橋が水産業へ与える効果の2位



○期待の高いものの3位

選択項目	人数	構成比
出荷・資材等購入における輸送コストの低減	37	6.3%
出荷時間の制約の解消	48	8.2%
出荷時間の短縮	48	8.2%
陸路輸送による出荷の安定性の確保	67	11.5%
新たな出荷市場等の開拓	42	7.2%
宅配便等を利用した新たな販売手段の導入	70	12.0%
出荷量・生産額の増大	38	6.5%
経営規模の大型化	43	7.4%
特に効果はない	14	2.4%
その他	1	0.2%
無回答	177	30.3%
合計	585	100.0%

問13-3 離島架橋が水産業へ与える効果の3位



架橋の水産業に与える影響として、1位「出荷等における輸送コストの低減」、

2位「陸路輸送による出荷の安定」、3位「新たな販売手段の導入」の順となっている。

問14. 離島に架橋を行う際、是非とも留意すべき点は何だとお考えですか。最も重要であるとお考えの高いものから順に3つを選び、回答欄に当てはまる番号を記入してください。

1. 自然環境の保全 2. 道路・交通体系の見直し 3. 地元産業の振興
 4. 若年層の定着 5. 住民の意見反映 6. 行政の積極的な指導性の発揮
 7. 治安の維持 8. その他（ ）

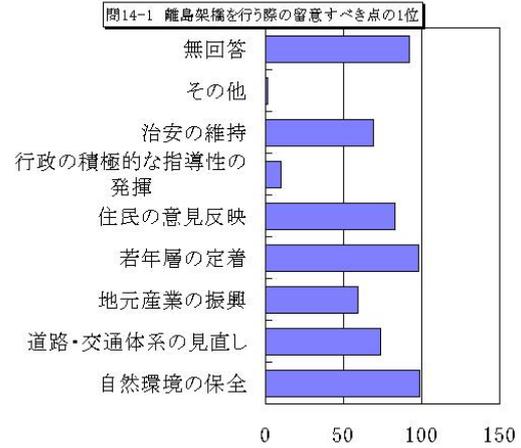
離島架橋に留意する点→

1位	2位	3位

“問14” 離島架橋を行う際の留意すべき点に関する質問は以下の結果となった。

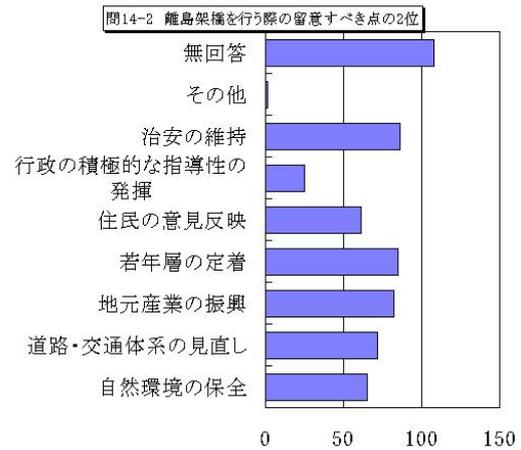
○留意すべきものの1位

選択項目	人数	構成比
自然環境の保全	99	16.9%
道路・交通体系の見直し	74	12.6%
地元産業の振興	59	10.1%
若年層の定着	98	16.8%
住民の意見反映	83	14.2%
行政の積極的な指導性の発揮	10	1.7%
治安の維持	69	11.8%
その他	1	0.2%
無回答	92	15.7%
合計	585	100.0%



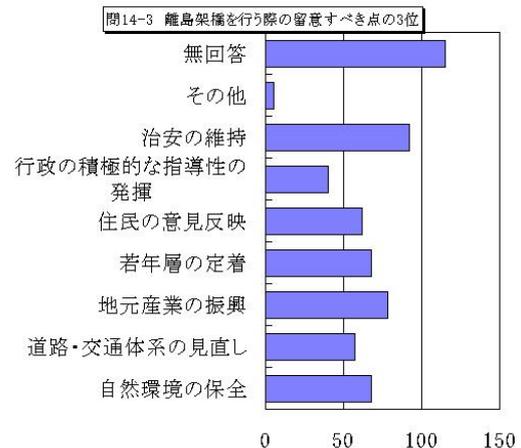
○留意すべきものの2位

選択項目	人数	構成比
自然環境の保全	65	11.1%
道路・交通体系の見直し	72	12.3%
地元産業の振興	82	14.0%
若年層の定着	85	14.5%
住民の意見反映	61	10.4%
行政の積極的な指導性の発揮	25	4.3%
治安の維持	86	14.7%
その他	1	0.2%
無回答	108	18.5%
合計	585	100.0%



○留意すべきものの3位

選択項目	人数	構成比
自然環境の保全	68	11.6%
道路・交通体系の見直し	57	9.7%
地元産業の振興	78	13.3%
若年層の定着	68	11.6%
住民の意見反映	62	10.6%
行政の積極的な指導性の発揮	40	6.8%
治安の維持	92	15.7%
その他	5	0.9%
無回答	115	19.7%
合計	585	100.0%



離島に架橋を行う際に留意すべき点について、1位で「自然環境の保全」2位「治安の維持」3位も「治安の維持」の順となっている。

問15. 離島架橋を促進するため、離島住民を中心にした（仮）離島架橋促進協議会などの組織が必要だと思いますか。当てはまる番号に○をつけてください。

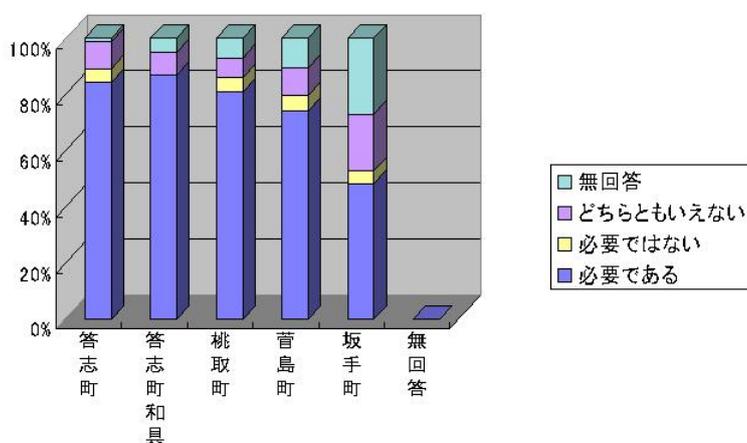
1. 必要である 2. 必要でない 3. どちらとも言えない

「問15」離島架橋を促進する組織の必要性に関する質問は以下の結果となった。

「あなたのお住まいの地区は」と「離島架橋を促進する組織について」の関係

選択項目	総計		答志町		答志町和具		桃取町		菅島町		坂手町		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
必要である	409	69.9%	70	84.3%	33	86.8%	81	81.0%	141	74.2%	84	48.3%	0	
必要ではない	27	4.6%	4	4.8%	0	0.0%	5	5.0%	10	5.3%	8	4.6%	0	
どちらとも言えない	72	12.3%	8	9.6%	3	7.9%	7	7.0%	19	10.0%	35	20.1%	0	
無回答	77	13.2%	1	1.2%	2	5.3%	7	7.0%	20	10.5%	47	27.0%	0	
合計	585	100.0%	83	100.0%	38	100.0%	100	100.0%	190	100.0%	174	100.0%	0	

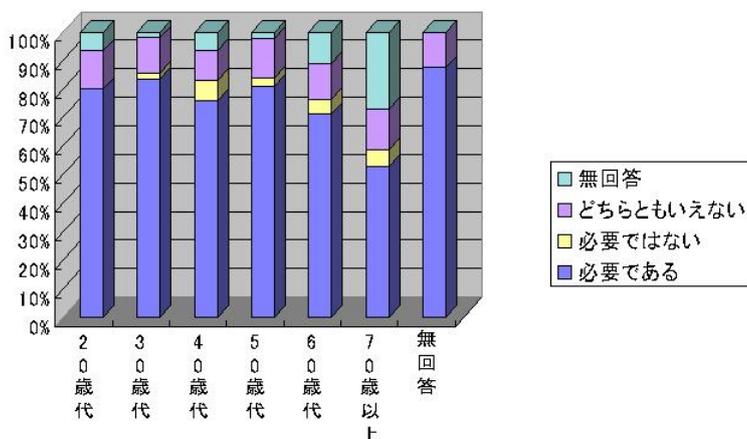
「あなたのお住まいの地区は」と「離島架橋を促進する組織について」の関係



「あなたの年齢は」と「離島架橋を促進する組織について」の関係

選択項目	総計		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
必要である	409	69.9%	12	80.0%	41	83.7%	95	76.0%	107	81.1%	84	71.2%	63	52.9%	7	25.9%
必要ではない	27	4.6%	0	0.0%	1	2.0%	9	7.2%	4	3.0%	6	5.1%	7	5.9%	0	0.0%
どちらとも言えない	72	12.3%	2	13.3%	6	12.2%	13	10.4%	18	13.6%	15	12.7%	17	14.3%	1	3.7%
無回答	77	13.2%	1	6.7%	1	2.0%	8	6.4%	3	2.3%	13	11.0%	32	26.9%	19	70.4%
合計	585	100.0%	15	100.0%	49	100.0%	125	100.0%	132	100.0%	118	100.0%	119	100.0%	27	100.0%

「あなたの年齢は」と「離島架橋を促進する組織について」の関係



全体で見ると、必要である69.9%、必要ではない4.6%、どちらとも言えない12.3%、無回答13.2%となっている。架橋促進のための組織は必要であると認識されており、今後、何らかの対応が望まれている。

問16. あなたの住む島にキャッチフレーズをつけるとしたら、どのようなキャッチフレーズが良いと思いますか。あなたのお考えを次の枠内にお書きください。

例えば：神秘の島、海女の島、など

“問16” あなたの住む島のキャッチフレーズに関する質問は以下の結果となった。

問9 離島架橋についての考えと問16 あなたの住む島のキャッチフレーズは、について比較したものを下表に示した。

問16について記述した人数は全体の三割程度で、架橋の賛否ごとにみると、賛成>どちらともいえない>反対の順に記述者が減っている。

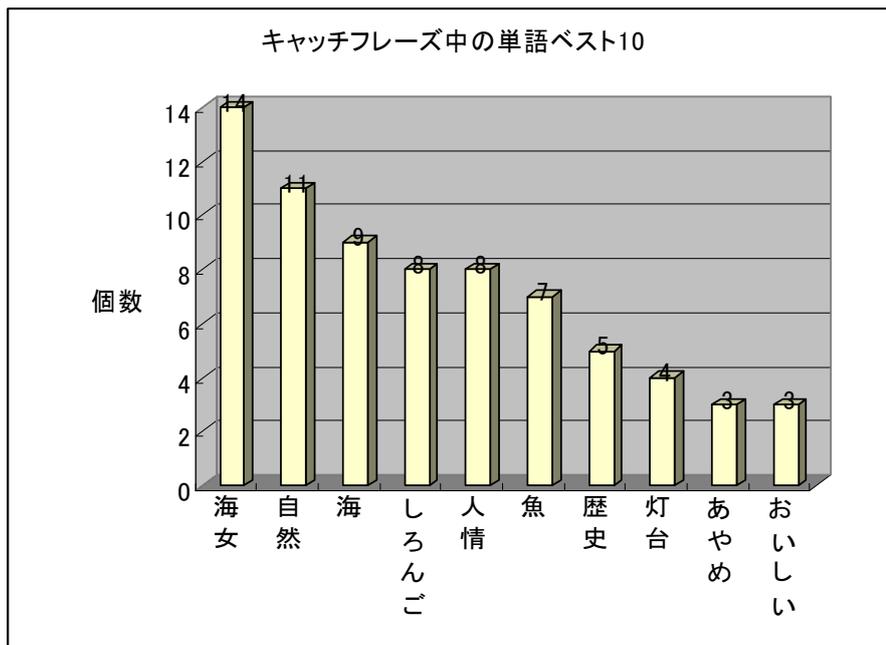
「離島架橋についての考え」と「あなたの住む島のキャッチフレーズは」の関係

選択項目	総計		賛成		反対		どちらともいえない		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
記述有り	178	30.4%	155	34.8%	7	21.9%	16	25.8%	0	0.0%
無回答	407	69.6%	291	65.2%	25	78.1%	46	74.2%	45	100.0%
合計	585	100.0%	446	100.0%	32	100.0%	62	100.0%	45	100.0%

記述内容について大まかに分析を行った結果、“〇〇の島”や“〇〇島”といった“島”のつくものが圧倒的に多かった。これは質問内容から考えても納得できるものと考えられる。

また、その具体的な内容について、文章を単語単位まで区別し、出現回数をカウントしたもののうち、上位10項目を以下に示す。

水産業や自然・地域の伝統というものが代表的なものとしてとらえられていることがみて取れる。



※単語単位で区別した際、助詞・接続詞などは抽出後に削除した。
抽出の際には、形態素解析システム「茶筌(chasen)」を使用した。

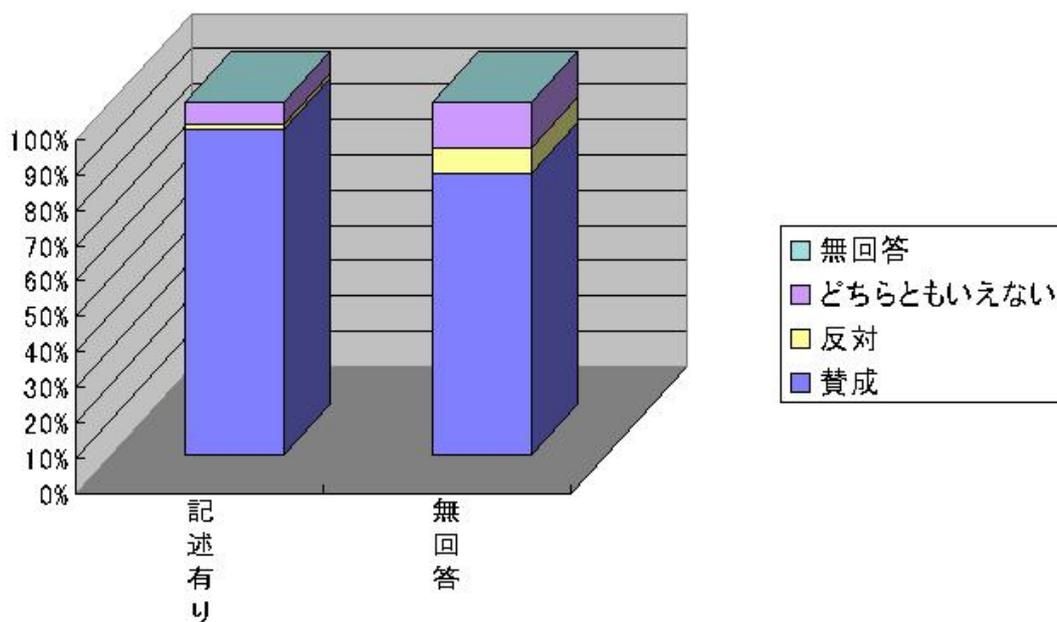
問 17. 全国の離島架橋を実現した地域では、架橋を要望しながら、息長く活動を続け、架橋建設に結び付けてきましたが、時代の変遷により今日では、「島にこのような町づくりがあるから架橋が必要である」というように、町づくりを前面に出す必要があります。そこで、離島架橋をアピールするための町づくりへのアイデアをお持ちでしたら、そのお考えを次の枠内にお答えください。

“問 17” 離島架橋をアピールできるまちづくりのアイデアに関する質問は以下の結果となった。

“問 9 離島架橋に関する考え” の回答結果と問 17 の記述された方の集計したものを以下に示した。架橋の賛否に関係なく、無回答（未記入）が約 71%を占める結果となっているが、“記述有り”に着目すると、架橋に賛成意見の方が、多くを占めている。また、どちらの設問でも無回答の集計結果が同じ値を示しているが、回答者の傾向を分析するまでにはいたらなかった。

選択項目	総計		記述有り		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賛成	446	76.2%	118	92.2%	328	71.8%
反対	32	5.5%	2	1.6%	30	6.6%
どちらともいえない	62	10.6%	8	6.3%	54	11.8%
無回答	45	7.7%	0	0.0%	45	9.8%
合計	585	100.0%	128	100.0%	457	100.0%

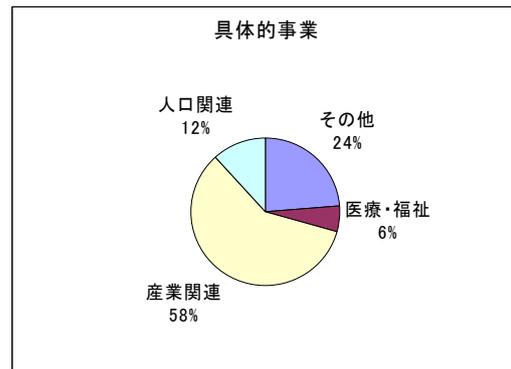
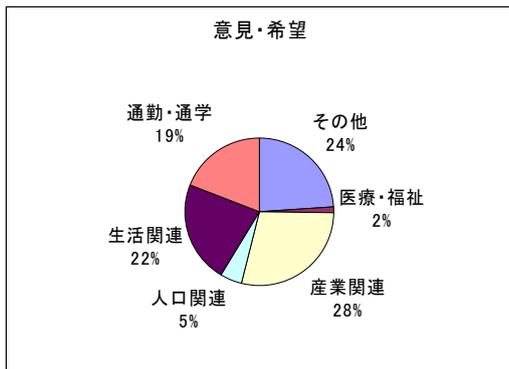
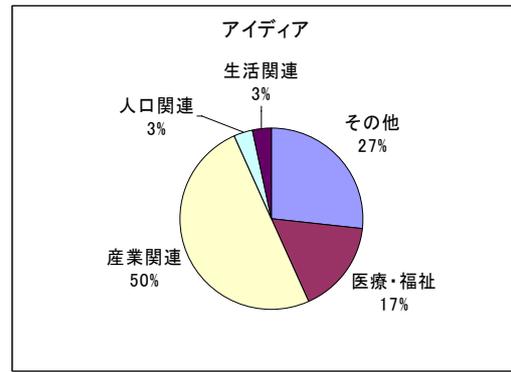
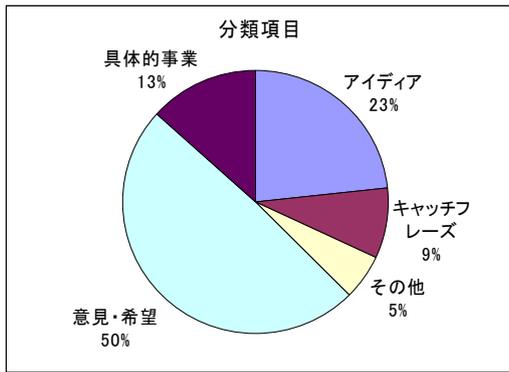
「離島架橋をアピールできるまちづくりのアイデアは」と「離島架橋についての考え」の関係



記述内容を以下の項目に分類してとりまとめたものを次頁に示す。

分類の方法としては、最初に分類 1 の 5 項目に分け、それぞれを分類 2 の 6 項目に振り分けた。

分類項目 分類 1；アイデア、具体的事業、意見・希望、キャッチフレーズ、その他
 分類 2；産業関連、医療・福祉、人口関連、生活関連、通勤・通学、その他



具体的な町づくりのアイデアよりも、生活や産業の現状に対する不満を解消するための橋の必要性を訴える、意見や希望が半数を占める形となった。

アイデアとしては、主に、既に架橋された島の意見を参考にする、官民が一体となる必要性、漁業や水産物をアピールする等の意見がみうけられた。キャッチフレーズは産業関連が全てであった。

※具体的な記述については、「資料-記述集計結果」を参照されたい。

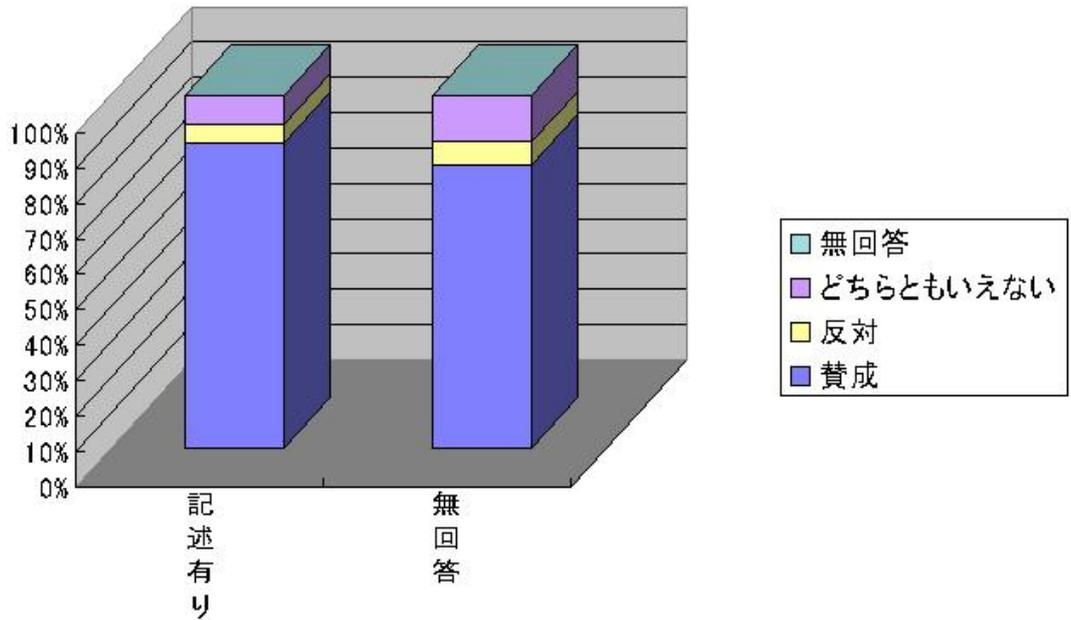
問 18. 離島架橋について、ご意見がありましたら次の枠内にご記入ください。

“問 18” 離島架橋についてのご意見に関する質問は以下の結果となった。

“問 9 離島架橋に関する考え” の回答結果と問 18 の記述された方の集計したものを以下に示した。架橋の賛否に関係なく、無回答（未記入）が 67%を占める結果となっているが、“記述有り”に着目すると、架橋に賛成意見の方が、多くを占めている。また、どちらの設問でも無回答の集計結果が同じ値を示しているが、回答者の傾向を分析するまでにはいたらなかった。

選択項目	総計		記述有り		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
賛成	446	76.2%	167	86.5%	279	71.2%
反対	32	5.5%	10	5.2%	22	5.6%
どちらともいえない	62	10.6%	16	8.3%	46	11.7%
無回答	45	7.7%	0	0.0%	45	11.5%
合計	585	100.0%	193	100.0%	392	100.0%

「離島架橋についてのご意見」と「離島架橋についての考え」の関係

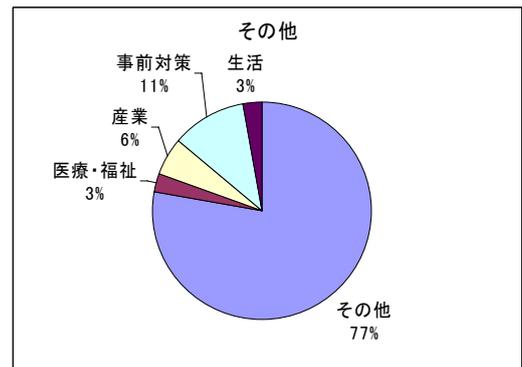
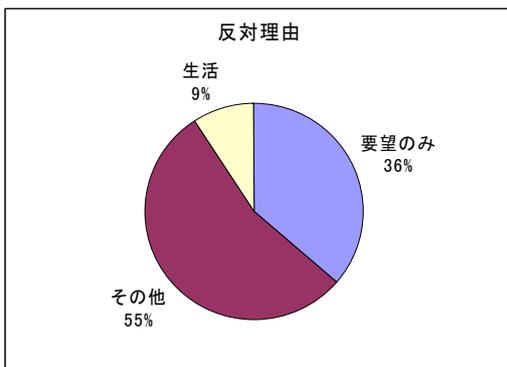
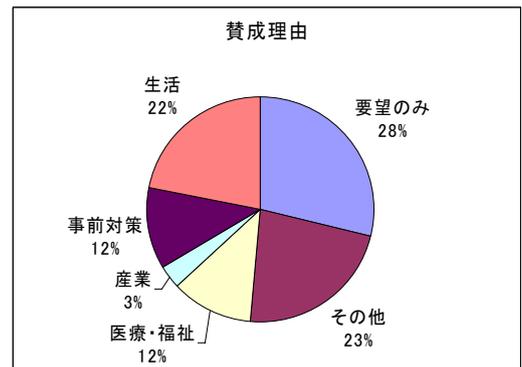
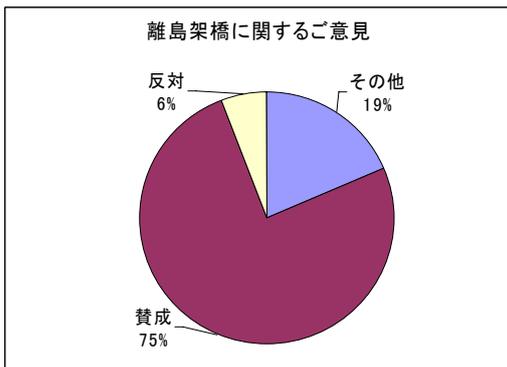


記述内容を以下の項目に分類してとりまとめたものを次に示す。

分類の方法としては、最初に分類1の3項目に分け、それぞれを分類2の5項目に振り分けた。

分類項目 分類1；賛成、反対、その他

分類2；産業、医療・福祉、事前対策、生活、その他



意見を分類する上で、記述内容に具体的に賛成と思われる語句があるものについては“賛成”とし、どちらにも取れるようなものは“その他”に分類した。意見の中で、最も多かったのが賛成意見であった。この中には、離島架橋のみならず、渥美半島との架橋を望む声も含まれている。

賛成もしくは反対理由のうち、“要望のみ”に分類したものは、例えば「早期実現」「架橋をお願いします」「反対」といった記述のみのものである。

また、賛成理由のうち“事前対策”に分類したものは、地元の盛り上がりを求めるものや、促進協議会等で総合的な判断をとったものを分類した。

※具体的な記述については、「資料-記述集計結果」を参照されたい。

資料 (1)

記述集計結果

資料一記述集計結果

問 2-(1) 通勤先の、その他市町村名は

- 名古屋 (桃取町)
- 津 (桃取町)
- 四日市市 (坂手町)
- 二見町 (坂手町)
- 松阪市 (坂手町)
- 二見町 (坂手町)

問 2-(2) 通学先の、その市町村名は

- 津 (桃取町)
- 愛知 (桃取町)
- 津 (桃取町)
- 松阪市 (坂手町)
- 松阪市 (坂手町)

問 4 でその他と答えた方、その内容は

- 漁業の発展と島の振興に力を入れたい。(答志町)
- 若い人たちの答志島への思い。(答志町)
- 子供の環境 (答志町和具)
- 生命 (桃取町)
- 平穏な暮らしができること (坂手町)
- 家族の健康。(菅島町)

問 5 すぐれているものの 1 位でその他と答えた方、その内容は

- ナシ (答志町和具)
- 交通手段の不便さ (桃取町)
- 海苔生産。(菅島町)

問 5 すぐれているものの 2 位でその他と答えた方、その内容は

- ナシ (答志町和具)

問 5 すぐれているものの 3 位でその他と答えた方、その内容は

- 本土と比較的に近い割りに素朴 (答志町)
- ナシ (答志町和具)
- 住みごこちが最高。(菅島町)
- 祭りでの人と人とのつながり。(菅島町)

問 6 おくれているものの 1 位でその他と答えた方、その内容は

- 救急車が 100%有効利用できない (坂手町)
- 全部。(菅島町)
- すべて、10分の1遅れている。(菅島町)
- 火葬場。(菅島町)

問 6 おくれているものの 3 位でその他と答えた方、その内容は

- 余暇に生き甲斐の趣味を生かすための指導者。若い人が仕事だけでなくいろいろなサークルを作り島での生活に生き甲斐を持って欲しい。(答志町和具)

問 7 必要な基盤整備の 1 位でその他と答えた方、その内容は

- 栈橋の整備 (答志町)

- 医療関係（答志町和具）
- 救急の医療施設（答志町和具）
- 桟橋と待合所（答志町和具）
- 津波等の緊急時の避難場所（桃取町）
- 避難場所の確保（桃取町）
- 火葬場の建設（桃取町）
- 公共施設（桃取町）
- 津波災害の避難道の整備（桃取町）
- 災害時避難所の整備（桃取町）
- 船の回数が少ない。（桃取町）
- 架橋を早く実現してもらいたい。（桃取町）
- 本土との交通機関（桃取町）
- 崖崩れ、津波に対する安全性（坂手町）
- 公共センター（坂手町）
- 自然災害（特に津波）時の避難道 どの場所からでも5～10分以内に高台に登れるように（坂手町）
- 定期船の増便、低運賃（坂手町）
- なし（坂手町）
- 結婚した若い夫婦の住めるところ（坂手町）
- 本土との連絡道路、合併処理浄化槽の推進、自然環境復旧。（菅島町）
- 全部。（菅島町）
- 定期船の整備・延長を含む。（菅島町）
- 日照問題の整備。（菅島町）
- 離島架橋。（菅島町）
- 架橋。（菅島町）
- 交通機関。（菅島町）
- 定期船。（菅島町）
- 架橋以外なし。（菅島町）
- 海岸道路。（菅島町）
- 橋または定期船の増便。（菅島町）
- 定期船の夜間運航。（菅島町）
- 定期船の最終便延長。（菅島町）
- すべての項目。（菅島町）
- 橋。（菅島町）
- 交通機関。（菅島町）
- 災害時における避難場所の確保。（菅島町）
- 火葬場。（菅島町）
- 橋をつくってほしい。（菅島町）

問7 必要な基盤整備の2位でその他と答えた方、その内容は

- みやげ物や地元で獲れた物をつかった料理を食べさせる場（桃取町）
- 子供達の遊び場（桃取町）
- 救急艇の整備（坂手町）
- 交通機関（坂手町）
- 津波等の避難場所の確保（菅島町）

問7 必要な基盤整備の3位でその他と答えた方、その内容は

- 港付近の整備（答志町）
- 橋が夢ならポンツーンでも作って欲しい（答志町和具）
- 海岸沿線の整備（桃取町）
- 老人の遊び場（桃取町）
- 船の便数（坂手町）
- 駐輪場の整備（坂手町）
- 公共施設を整備した時の管理と手軽に利用できる環境。家族で遊び、買い物ができる場所（菅島町）
- 公園（菅島町）
- 住宅地の造成（菅島町）

問 8 必要な基盤整備の 1 位でその他と答えた方、その内容は

- 観光よりも地場産業の充実 (答志町和具)
- 定期船の増便、低運賃 (坂手町)
- 防災対策の整備 (菅島町)
- すべて期待する。 (菅島町)
- 老人の福祉施設 (菅島町)
- 離島架橋 (菅島町)
- 架橋と大橋づくり (菅島町)

問 8 必要な基盤整備の 3 位でその他と答えた方、その内容は

- 海岸、ビーチ (坂手町)
- 魚市場の整備 (菅島町)
- 菅島の石材会社の跡地利用として、緑化では雇用も市税も生むことはできないと思います。安楽島から橋がかかれば、工場誘致も可能になるし、あの広い土地を活用することを考えたらどうでしょうか。そうすれば、若者も定着できると思います。鳥羽に必要なのは、企業誘致だと思います。若い家族が増加すれば家族でゆったりできる施設も人の集まれる商業施設、買い物ができる場所がほしい。(菅島町)
- 下水整備 (菅島町)

問 10 問 9 で反対、どちらともいえないと答えた方のご意見

- ”・自然破壊と犯罪が増える。交通事故等の問題。・水産物の値段の安定化がはかれない。(良い所)・緊急の医療、暴風時の欠航がなくなる、佐田浜駐車場の代金がいらなくなる、水産物の荷運賃(船便代)がいらなくなる。” (答志町)
- ”島ならではの魅力が損なわれないか心配。(人柄、環境、安全性、自然等)” (答志町)
- 犯罪の増加、交通事故の増加。一步外に出るにしても戸締りをしなくてはならない。(答志町)
- 橋を架けると、何にしても便利にはなりますが、治安が悪くなり、安心して住めなくなります。船で行き来するのが魅力のこの島に橋をかけるのは反対です。(答志町)
- 海が汚れる。犯罪が増える、魚が獲れなくなる。(答志町)
- 島民の車に対するモラルが低すぎる。架橋により、さらに車が増えれば、生活が危険にさらされる。(答志町)
- 橋だと永久的ではない。できれば坂手の灯台まで埋め立ててほしい。それから足を伸ばせば、桃取の島の崎まで行こうと、菅島に橋をかけようと、後のことは考えればいい。(答志町)
- 乱開発・環境破壊・島内の店が不景気になる。(答志町)
- 架橋よりも最低一時間おきに定期船を運航して欲しい(答志町和具)
- 入院する病気、けがなどになった時、見舞いや付き添いに思うように行けないが、日常生活は子供たちの安全や犯罪面に不安が少なくて良い。(答志町和具)
- 島の人口が減る今となってから橋がかかっても遅いと思う。橋が架かれば本土で用が終わればすぐに帰れる。橋が架かっても架からなくてもよい。(桃取町)
- 対応が遅い。具体的な方針は。(桃取町)
- 自然環境が壊される。(桃取町)
- 病院に行くには確かに便利になり、通勤により住民も増えるでしょう。でも犯罪的な面でまた、子供達の教育面で心配です。(桃取町)
- 橋があると便利にはなるが、島の持ち味がなくなってしまう気がする。釣客にしても車で来て車で帰ってしまい、ただゴミが残るだけの様な気がする。(桃取町)
- 私の年齢になると架橋が出来てもすでに利用することはないでしょう。もっと早くにしてほしかったです。(桃取町)
- 今度、人口減少へまっしぐらの離島になぜ今頃。漁師の生活は橋建設後、保障できるのですか。マリンタウンを失敗しているのに鳥羽に財源はあるのですか。(桃取町)
- 古き考えかもしれないが、この温厚な島民の性格も変わり、家の用心が悪くなるように思います。(桃取町)
- 瀬戸内海の島々をみてもあまり効果はないように思う。離島は島の特徴を生かした観光、水産業の整備などの費用をかけてほしい。1 時間毎のフェリーの就航を望む。若年層を車で通勤可能な時間まで午後 9 時ごろまでの。(桃取町)
- 治安、少子化、将来性がない。水産業の減減に居残り組みを考えるとどうかなという気がする。もう遅すぎた感じ、50 年先をみると。(桃取町)
- 桃取地区では、老人と子供だけ、若い人達がどんどん島外へ出てしまう。架橋を望んでも聞き入れてもらえないように思う。(桃取町)

- 犯罪が増える (桃取町)
- 架橋についてはプラスの面もあればマイナスの面もあると思います。さしあたってプラスの面が思い浮かばない。 (坂手町)
- 今の日本の財政では橋は難しい。橋ができてからの維持費を考えると船を増発させたほうが安くできる。それから橋がかかった島は一段と過疎化が進んでいる。 (坂手町)
- よその人が入ってくることに不安を感じる (坂手町)
- 悪い人が島に入ってくるから (坂手町)
- 架橋が次の市の活性化につながるか見えない。離島が将来市の財源となるような施策が欲しい。 (坂手町)
- 架橋は便利がよいが、悪い人間ができ、安心して休むことができない。 (坂手町)
- 架橋より鳥羽から至近距離にあるので、加茂川の水路を確保し、埋め立てをしたほうがよい。そうすれば鳥羽市の駐車場不足も解消できる。 (坂手町)
- 犯罪の心配 (坂手町)
- 交通事故。犯罪。 (坂手町)
- 問い5であるように、自然環境がよい、犯罪少ない、騒音・公害がない、だから架橋は必要ない。 (坂手町)
- 今更架橋しても島から出て行った人は戻ってこない。メリットは急病人が出たときぐらい。 (坂手町)
- 島以外の人が入ってきた場合、其の方がどちらさんともわからないからです。 (坂手町)
- 何年経ったら完備できるのか (坂手町)
- 架橋をしても駐車場の新設、または車を持ったものに対しての交通手段 定期船が廃止になる (坂手町)
- 利益は？ (坂手町)
- それぞれの島の良さがある。 (菅島町)
- 架橋がつくと離島でなくなります。いろいろな面での不自由さは感じますが、離島振興法により相当なお金がおちています。これがなくなると、離島に住むこともできなくなる方も増える。今の振興法を利用しながらの生活がベターと思う。 (菅島町)
- 賛成した場合→犯罪等が心配、他の人が多く入ってくると、島が島らしくなくなるような気がする。反対にした場合→生活等、働く所が不便。 (菅島町)
- 交通はすごく不便ですが、安全面ではすごくいいと思うし、年のとった方々にはいいように思います。 (菅島町)
- 架橋をつくっても、何のメリットもないと思う。 (菅島町)
- 犯罪が多くなる。 (菅島町)
- 交通機関が便利になるには賛成だが、治安が悪くなる可能性が高く、子どもたちの安全が不安である。 (菅島町)
- 今さらという感じです。子どものことを考えるとそれもいいのかな。 (菅島町)
- 犯罪が起こる心配。 (菅島町)
- 今のままで、あまり不自由を感じない。自分たちの生活の中へあまり介入してほしくない。 (菅島町)
- 離島架橋ができれば、都会との交流は良くなると思う。反面、心なし人間が多くなり、悪いことにはすぐ染まりやすく、善良な町民をおびやかして、夜もゆっくり眠られなくなり、家の周りを厳しくチェックするなど、十分注意しなければならない。 (菅島町)
- 島内より人口が流出する。 (菅島町)
- 便利になり、島の活性化にもつながると思いますが、環境面、駐車場、治安の悪化など問題も多くなると思います。 (菅島町)

問 11 効果を期待する分野の 1 位でその他と答えた方、その内容は

- なし (坂手町)
- 架橋だけではダメ。人口流出したところもあります。企業誘致をしてほしい。 (菅島町)
- すべてに期待します。 (菅島町)

問 11 効果を期待する分野の 2 位でその他と答えた方、その内容は

- 就職先の広域化となる。 (菅島町)

問 11 効果を期待する分野の 3 位でその他と答えた方、その内容は

- 子供に良い塾へ行かせられる。 (答志町)
- 残業ができる。(残業しないとリストラ対象になる) (菅島町)

問 12 影響の高いものの1位でその他と答えた方、その内容は

- 悪い事は何もないと思います。 (答志町)
- すべて。この問題は、あとのことで、島民がそれぞれ考えていくことである。 (菅島町)

問 12 影響の高いものの3位でその他と答えた方、その内容は

- ゴミの不法投棄の増加 (桃取町)
- 騒音が心配。 (菅島町)

問 13 水産業における効果の1位でその他と答えた方、その内容は

- 本土からの直接買入れ業者の新規参入に期待できる。 (答志町)
- 他からの仲介の介入 (答志町和具)
- わからない (坂手町)
- すべて心配。 (菅島町)
- 釣船などが発展できる。 (菅島町)

問 13 水産業における効果の3位でその他と答えた方、その内容は

- 車両輸送による新たな経営形態。集荷市場が答志という方向で、現在、進行中の中で、菅島にとっては、不便としかいえない。集荷市場は、マリンタウンの港の一角であれば便利。 (菅島町)

問 14 離島架橋に留意する点の1位でその他と答えた方、その内容は

- すべて。 (菅島町)

問 14 離島架橋に留意する点の2位でその他と答えた方、その内容は

- 島民が利用しやすくする。 (菅島町)

問 16 あなたの住む島のキャッチフレーズは

- シーワールド答志島 歴史：自然：食の島 (答志町)
- 自然と共存 (答志町)
- 恵潮の島 (答志町)
- 海女の島 (答志町)
- 感動に出会える島 (答志町)
- 架橋を待ちわびる島 (答志町)
- 伝統の息づく島 (答志町)
- 活気ある島 (答志町)
- 水産物流通の島 (答志町)
- ①海の幸宝庫の島 ②安らぎの島 (答志町)
- 伝統の島、伊勢の海の里、寝屋子のある島 (答志町)
- サン&グリーンランド (答志町)
- 漁業の島、海女の島 (答志町)
- 活力のある島 (答志町)
- 新鮮な島 (答志町)
- 元気な島 (答志町)
- 空気がきれいで温情のある島 (答志町)
- ロマンの島 (答志町)
- 観光の島 (答志町)
- 神の島 (答志町)
- 歴史と美食の島 (答志町)
- 悠久のロマンの島、海道の島 (答志町)
- 自然と海女の島 (答志町)
- 人情と島とか、漁の島 (答志町)
- 歴史の古い島、海女の島、犯罪の少ない島 (答志町)
- ふだん着の島 (答志町)
- 人情の島 (答志町)

- 魚貝まいう島 (答志町)
- 人間を育てる原点、答志島だと思います。ほのぼの島はどうですか。 (答志町)
- 答志島→アンサーランド、神島→マリアランド、桃取→ピーチランドなど (答志町)
- 魚っとする癒しの島 (答志町)
- 水産資源の島 (答志町)
- 南西(紀伊半島)で一番最初に初日の出が見られる島。歴史にふれあう島。 (答志町)
- 海が育む光の町(島) (答志町)
- 歴史が語る海女の島 (答志町)
- ふれあいの島 (答志町)
- ふれあいの島 (答志町)
- 架橋で釣りを (答志町)
- ふれあいの島 (答志町)
- 活気ある島 (答志町)
- がいええ島 (答志町)
- 住めば都・答志島 (答志町)
- 人情のある島 (答志町)
- 自然いっぱい島 (答志町)
- 水軍の島 (答志町和具)
- 海女の島 (答志町和具)
- 答志島は志摩の島、心豊かな島 (答志町和具)
- 歴史のある自然の島 (答志町和具)
- 魚、貝類の一番おいしい島(三重県で) (答志町和具)
- がいええぞ答志島 (答志町和具)
- うるおいの島 (答志町和具)
- 魚の美味しい島 (答志町和具)
- 漁業の島答志島 (答志町和具)
- 来てたもれ見てたもれ、住んでたもれ(海からの恵の島) (答志町和具)
- 青い島。うずしおの島。 (答志町和具)
- 海女の島 (答志町和具)
- 答志島 (答志町和具)
- サンシャインアイランド答志島 (答志町和具)
- 野鳥の島 (答志町和具)
- 癒島す！(いやします) (答志町和具)
- 歴史と伝統の島 (答志町和具)
- けしきのよい島 (桃取町)
- 人情の島 (桃取町)
- 朝日に希望、夕日に感謝の島。 (桃取町)
- 活魚の島 (桃取町)
- たちばなの島 (桃取町)
- 夢の島 (桃取町)
- キレイな夕日が見える島 (桃取町)
- 魚貝の新しい島 (桃取町)
- いこいの島 (桃取町)
- 反対だから何もない。 (桃取町)
- 海宝島 (桃取町)
- 魚貝類の港 (桃取町)
- 美(うま)し島 (桃取町)
- 魚のうまい島 (桃取町)
- 平和なゆたかな島 (桃取町)
- 桃の郷 (桃取町)
- キラリ島 (桃取町)
- 日本一美しい島 (桃取町)
- たちばなの里 (桃取町)
- 魚のおいしい島、自然のある島 (桃取町)
- 姥捨て島 (桃取町)
- 桃のしま (桃取町)
- たちばなの島 (桃取町)
- 人情とひだまりの島 (桃取町)
- 老も若きも暮らせる島 (桃取町)

- 水産業のグランド桃取 (桃取町)
- 潮かおる島 (桃取町)
- 和やかな島、やすらぎの島 (桃取町)
- 海の香りのある島 (桃取町)
- 我が島はふるさと (桃取町)
- 桃の島 (桃取町)
- 山桃の里 (桃取町)
- 美味島 (桃取町)
- 新鮮な魚貝類のおいしい島 (桃取町)
- 豊漁の島 (桃取町)
- 不便な島 (坂手町)
- 老人の島 (老人の暮らしやすい島) (坂手町)
- 世界一波動の高い島 (坂手町)
- 花の島にしたい (坂手町)
- 海女の島 (坂手町)
- 癒しの島 坂手 (坂手町)
- あやめ池の有る島 (坂手町)
- アヤメの島 (坂手町)
- 生涯の助け合いの島 (坂手町)
- おだやかな島。ずっと以前に古老に聞きました。(乳母の懐) と。 (坂手町)
- 本土に一番近い島 (坂手町)
- 海辺の島 (坂手町)
- いこいの島 (坂手町)
- 坂手 (島をつけずに) (坂手町)
- 心暖まる島 (坂手町)
- あやめの島 (坂手町)
- 素朴な島 (坂手町)
- 神秘の島 (坂手町)
- 長寿の島 のんびり島 (坂手町)
- 小さな島で雨が降っても海に流れてしまいましたが、なぜか昔から「あやめ池」だけには水が溜まり神秘的なあやめが咲き続けています。先祖代々から島中であやめ池を守ろうと島中の人たちが守っています。シーズンにはぜひ島を訪れる人たちに鑑賞していただきたい。 (坂手町)
- 君の住む島 (坂手町)
- 海女の島 (坂手町)
- 大自然を残す島 (坂手町)
- あやめの島 (坂手町)
- 今のままでよい (坂手町)
- 海幸の島スガシマ (菅島町)
- 潮風の島 (菅島町)
- 灯台と海女の島 (菅島町)
- しろんごの島 (菅島町)
- 宝の島 (菅島町)
- 海女の島 (菅島町)
- しろんご祭、弓祭 (菅島町)
- しろんごの島 (菅島町)
- 楽園の島 (菅島町)
- 海女の島 (菅島町)
- 癒しの島 (菅島町)
- 純夏の島 (菅島町)
- 日本最古 白亜の円形灯台と海幸のうまし菅島 (菅島町)
- 鳥羽島 (菅島町)
- 菅島海物語 (菅島町)
- さかながうまい島 (菅島町)
- 磯笛の聞こえる島 (菅島町)
- 紅つげの島 (菅島町)
- 海女の島 (菅島町)
- しろんご島 (海人さんに会える) (菅島町)
- 自然と人情の高い島 心情の島 (菅島町)
- 紅ツゲと灯台光り輝く島 (菅島町)

- キャンプ場 アウトドア (菅島町)
- 一本釣りの島 (菅島町)
- 自然の島 (菅島町)
- にこやかな笑顔の島 (菅島町)
- しろんご島 (菅島町)
- 人にやさしい島 (菅島町)
- 海・人・心 (菅島町)
- 旅館組合では、風の島とキャッチフレーズを考えているようですが、大山に風力発電設備を設置する案も良いと思います。(菅島町)
- 紅つげの島 (菅島町)
- しろんごの島 (菅島町)
- 自然の島 海島 (菅島町)
- しろんごの島 (菅島町)
- しらひげの島(しろんご神社) (菅島町)
- 連れもて行かう海女の島 (菅島町)
- 大宝島 (菅島町)
- しろんごの島 (菅島町)
- 問題外 (菅島町)
- 開拓の島 (菅島町)
- 自然の豊み (菅島町)
- 自然と新鮮なこと。(菅島町)
- ギャンブル島 (菅島町)
- 灯台(最古というが、5, 6番目ではないか。ツゲの群集、しのぼり、つつじ(高山用)(菅島町)
- 海女の島 (菅島町)
- 海・山・人情の島 (菅島町)
- 素朴な島 マリンブルー (菅島町)
- ふるさと (菅島町)
- 自然環境豊かな スローアイランド (菅島町)
- 幸福の島 (菅島町)
- 心あたたまる島 (菅島町)
- 憩いの島 (菅島町)
- 風の島 (菅島町)
- 海女の島 (菅島町)
- 風の島 (菅島町)
- 心豊かな島 人情ある島 (菅島町)

問 17 離島架橋をアピールできるまちづくりのアイデアは

- 〝三町の団結が不可欠。島内が一枚岩になってはじめて諸計画が実をむすぶ。→「何のための橋か」というコンセプトをしっかりと明確化する。
島の中には、島の財産(自然・歴史など)を利用したレクリエーション施設がないので、つくみ島などにそんな施設を作れたらよい。〝 (答志町)
- 漁港間道路を整備して架橋を実現することにより、島の孤立化を解消して、島内外の利便性を十分に取入れ、一住民のみならず地域外の人々とも自然と共存できる島づくりをしたいと考えております。(答志町)
- 漁獲量の低迷、後継者の不足問題の対策の一つとして、観光客への物販、体験メニュー、飲食等を新しい産業として構築する。その為には架橋は必須。(答志町)
- セントレア(中部国際空港)も開港して、関西方面又は関東方面からの交通。(答志町)
- 伝統の息づく島 (答志町)
- 歴史と水産業の町 (答志町)
- 〝車で来た観光客の方達に答志島でとれた魚貝類を実際に見てもらおう事が出来ますし、魚の良さをもっと分かってもらえることだと思うのです。泊りじゃなく日帰りで食事などしていただけるかと思うのです。そして答志島をよりよくアピールができて、活性化につながるかと思うのです。最近遊歩道も完成しましたし、気軽にウォーキングや自然体験をしていただける事だと思うのです。よろしく願いします。〝 (答志町)
- 〝数年前、鹿児島島へ鳥羽市の企画と一緒に視察したことがありました。どんな小さな島にでも橋がかかり、島での生活、環境、産業等が一変したとの話を聞いてまいりました。こんな経験が生かされない、自分にも歯痒い思いもあります。今までは、答志島は漁港整備の方に力を入れていた事は、島民も反省しなければならぬことでもあります。微力ではありますが、今後促進するための協議会等を立ち上げて協力していくつもりです。①子供達から老人まで年代別に意見を聞いてよりよい考え方を反映

- させて行く協議会を作る。②島内の道路を整備し、駐車場を確保する。③毎月1日でも2日でも掃除し、美しくする日を作る。”（答志町）
- 若者が島外へ出て行くのは仕方がないが、通える島づくりが必要。（答志町）
 - このままでは、島はさびれてしまいます。本土との道をつけ、若者たちの生きていく為の仕事場を作る、漁業だけでは若者たちがとどまってくれない。（答志町）
 - 波があらくて、少しの波でもお客様はこわがります。遊歩道も整備されていますが、キャンセルはいつも波が高いからという理由が多いです。ゆっくり遊んで帰れる島になると良いと思います。（答志町）
 - 町づくりの前に若者が島から通勤できることが一番!現在は、島で暮らしたくとも、仕事のため、仕方なく鳥羽・伊勢にアパートを借りて生活をしている。（答志町）
 - 通勤可能地域の拡大による人口流出の歯止め、時間に縛られない本土との行き来、今よりも気軽に来れることによる観光客の誘致（答志町）
 - 以前、離島架橋を実現してきた地域の人々の話を参考にする。（答志町）
 - 架橋が実現出来れば、後々の人達のため、個人的には、自分達、子、孫、曾孫、子孫のため、大変喜ばしい事と思います。道路、山、港内、また墓の供物の空缶等を捨ててくれる人もあれば、まとめて持ち帰り不燃塵を出してくれる人達もおりますので、有難く思っております。大きく発展した文明のもとで、人々の心の内も開化してもらえ様、行政の方で道徳の方法も幾分か指導してもらい、架橋と共に答志島の空が明るく輝く様にしてもらえれば幸いと思います。”（答志町）
 - 自然を利用した、都会の人達のレクリエーションの場にして、漁業者と町の人との交流を盛んにして、その事により、島の人達の生活が潤い、都会の人には癒しを提供する、そんな町作りをしたい。（答志町）
 - 1. 水産業が活発になる。2. 急病人が出て海が荒れていると病院へ行けないから橋が必要である。3. 新鮮な魚介類があるから旅館業にも大変橋が必要になる。”（答志町）
 - 魚が多く水揚げされる所なので、魚をネイミングした何かがいいと思う。今は思い立つ言葉がありません。（答志町）
 - 今時「アピール」が必要でしょうか?必要なのは離島架橋だと思います。自分たちのため、子供たちのために一日でも早く架橋建設をお願いします。（答志町）
 - 水産業がさかんな町なので、少しでも新鮮な魚貝類を消費者の方に届け、架橋建設を実現すると一般の方でも気楽に購入できると産業の発展・活性化につながると思います。（答志町）
 - 定期船をこの先維持していく金額と架橋をつくる金額を考えて下さい。離島のこまっていること、仕事上の住まいを借りる高校生は寮を借りる、物価は高い、離島の人達は、これからの世の中の生活に対して余分なお金があまりにも大きな負担になっています。答志島は漁業の盛んな所でもあるが、年々低くなっています。島の人達がこの先苦しくなってくるのはわかります。架橋は絶対必要!!（答志町）
 - 私達は長年答志に住んでいます、もう81歳にもなるので病気などをした時の大きな病院へ行くのには船より車の方がはやいようにも思われます。それに、少子化で年々小さな子供や若者が不便なため、本土へ出て行ってしまい、答志には若者達が少なくなってきました。そのためにも橋をつくって少しでも多くの若者が答志島に残ってくれればと思います。（答志町）
 - 漁業生産が安定し、島の人々が活気付けば、若者も漁業を継ぎ、将来も漁業者が減ることもなくなるだろうし、通勤する人、通学する子供達も便利になる観光客も地元への魚貝類を食べさせれば昔みたいに客も増える。都会の人々が気軽に遊べて食べて、見る事や休養できる場所、島の人々の人情に触れ合える町作りが必要。”（答志町）
 - 漁業者の意見として、答志島は、他の離島の中心として将来的には、離島の水産物の集積地を目指して、現在、中央埋立地に集約市場を建設している。この施設が、本格稼動することによって、本土からの仲買人、また離島の本物の魚をあてに多数の観光客の流入が見込まれる。しかし、本土側の駐車場難によって、車を鳥羽に置いて、船に乗り換えてという現在の交通体系では、希望が持てない。島には、幸い埋立地の活用等で駐車スペースは十分確保できたと思う。（答志町）
 - 若い者が考えてくれると思います。（答志町）
 - 今3町において活性化21委員会において、まちづくりを前面に第1に離島架橋が話されております。若者の働く場また、通勤範囲が広くなり、若者が外に出なくなるために、地産地消の場のため水産物の自由販売及びつりの楽しみ、海岸での磯遊び等のできるまちづくり。（答志町）
 - 答志の方に集約市場も完成します。後は、流通の面で橋が必要です。（答志町）
 - 町おこしをして、鳥羽が活気をおこすためには、離島が町おこしをしても交通が不便だと通りすぎてしまう。（答志町）
 - 架橋ができれば、本土からあらゆる面において活動ができる。答志は、うるおい、やがて「100年の年月が希望に満ちた日々」が続くと思います。「架橋の島答志」（答志町）
 - 今更、架橋より、離島の特性をいかした21世紀のまちづくりを志向すべきである。ユニバーサルは、住環境が構築できれば、橋などは不要。（答志町）
 - 愛知県などは、名古屋という大都市をかかえているから、空港もあれば、新幹線も通っている。現在、

- 三重県には何も無い。私が思うには、できれば鳥羽湾を埋め立ててほしい。橋もいいけど、もう橋のことだけでは、遅すぎる。観光都市と言うならば、坂手、桃取まで埋め立てて考えれば、もう瀬戸内海のような橋ではもう時代遅れだと思います。鳥羽湾の一部をやっても意味がない。（答志町）
- 橋は離島への道。道がなかったら何もかもできない。（答志町）
 - 豊かな海産物の振興と住民が安心して住める町づくりのために架橋は大切です。（答志町）
 - こういう事業があるから町づくりに結びつくというのは具体的に思い浮かびません。今、現在島外で働く人が多いです。その人たちが別の家庭を島外に持つということは不経済であり、島の人口も減り、家族のコミュニケーションが減ってしまいます。（答志町）
 - 歴史と伝統の島（答志町和具）
 - 架橋することによって経済面での流通も増加すれば、若年層も増加でき、というかとどまったりはする傾向があるだろう。町の発展にもかかわり旅館などの環境にもよい影響があるでしょう。通学の時間短縮にもなり遅刻することもないでしょう。（答志町和具）
 - 島の海産物、又、魚、貝類の味を全国にアピールしたい（答志町和具）
 - 生活道路ではいけないのか？（答志町和具）
 - 高齢化が進むこの先、子供(若者)たちが島に残りやすく出来るように橋を架けて欲しい。(答志町和具)
 - 何よりも、島の子供たちの高校への交通便のために早く橋が欲しいです(下宿などしなくてすむから)橋が出来れば時間を気にしなくても良い（答志町和具）
 - 恵まれた自然環境の海を最大限に活用して、採る漁業と共に作る漁業に力を入れて、生産増大と安定供給により流通販路の開拓、安定価格の確保等で住民の潤いと来島してくれる観光客にも冷凍食品ではなく、新鮮な魚でおもてなしできるようになれば、船渡りの嫌だった人も車でどんどん来てくれる様になると最高だと思います。住民も来島して下さる人も共に恵まれて和みの島に、架橋によってきっと成ると信じます。（答志町和具）
 - 島の自然を利用した施設を造りキャンプ、宿泊、サイクリングロード、トライアスロン等の設備を沢山の人が来てもらい利用して欲しいと思います。また、島の歴史を感じてもらえるよう充実した資料展示室をより多くの人に見てもらいたいと思います。今の交通機関では不便です。そのためには架橋は私たち、島、まちづくりの大きな希望となります。（答志町和具）
 - 若年層の定着が必要だと思います。若い人たちがいると、子供も多くなるし、なにかと活性化してくるのではないかと。子供は年々少なくなるばかりで、今年は1年生が3名です。架橋があると若い人たちも自宅から通える人たちも多いのでは。（桃取町）
 - 坂手島や答志島は鳥羽とも近く、もし架橋ができれば、会社員の人々も残業などもでき島から通勤できるため、人口がすくなくなることもないと思います。また、我々漁業者も出荷などのコストダウンにつながったり、また、消費者に直接売ったりしやすくなるなど島に人を呼びやすくなると思います。今何かイベントをしても高い船賃を出してまではよほど良いメリットがないかぎり無理だと思います。（桃取町）
 - 空気のきれいなこの島に最近どこでもあるが、ゴルフ場とか。グランドゴルフ場等を考えてはどうか。（桃取町）
 - この島にしかない物の販売（桃取町）
 - 離島架橋が実現したら観光が伸びると思われれます。地元の物は味が良い（魚でも海藻でも）地元のものを食べさせるように。（桃取町）
 - 答志島は周囲が約25kmある。全国あるいは東海北陸でもよいが、女子大学生か実業団か、女性のハーフマラソンをシーサイドコースとして開催してはどうでしょうか。（桃取町）
 - 署名運動（桃取町）
 - 島の産業を体験して頂く観光もあればいいかなと思います。町の人が温かくて親切であること。（桃取町）
 - 若年・壮年・老年の方が皆一緒に住むために橋が必要なんです。（桃取町）
 - まずは答志島に橋をかけ浮島、牛島にも橋をかければ観光面でのプラスは間違いないと思います。浜遊び、海釣り等で島は大賑わいになる。遊歩道も作り街の人を呼びかけるような施設を作る。（桃取町）
 - 夜間緊急を必要とする場合、交通に不便であるため、架橋が必要である（特に年寄り、小児、妊婦）。物価も離島では高いし、ジャスコやぎゅうとらへ行くとも価格も低い。家計も助かる。きれいなまちづくりして、桃取から答志のスカイラインもたくさんの人たちが歩いたり、きれいな景色を見てほしい。（桃取町）
 - 働く場所もなく若い人は島の外へ出て老人と別々にくらす人達が多くなり、老人ばかりの島になってきました。子供達の笑い声があふれる島を作ってほしいです。そのためにはぜひ若者が働く場所がほしい。（桃取町）
 - 船で本土に通いたくないから本土に移住してしまう。（桃取町）
 - 橋により時間に関係なく自由に人が行き来できれば、たくさんの方々の意見の中で、もっととらわれな（今までに）良いまちづくり、活気のあるまちづくりが出来ると思います。あまり、他地域の方々と交流が持てないのが、進歩につながらないと思うからです。産業面では、新鮮な魚貝類を仕入れに

- 来られる方も増えると思いますので、漁民収入面で増えると思います。（桃取町）
- 田舎の生活には不便な点が多いですが、都会の生活では、想像も出来ない事が、日常の中にあふれていると思います。島民にとってはあたり前でも都会暮らしの人には不思議に思える事が。そういうおもしろさは外国の異文化の人や、若い世代の人に興味を持ってもらえenと思います。プチスローライフ体験みたいな感じで、島に気軽に遊びに来てもらうためにも、船しか交通手段が無いというのは、誘致するのも厳しいと思うので、離島架橋は絶対必要だと思います。（桃取町）
 - “桃取の町民は、お年寄りほど挨拶を大事にします。町のあちこちには立派な標語が立てかけてはあるのですが、若い人ほど仲間同士でしかしません。悲しい現実です。それをいっそうするためのまちづくりを強力に推し進めたいです。その結果、島の至るところに笑いがあふれる町に子供からお年寄りまでも。おいしい水産物はEMを海苔、カキ、若布等の養殖漁業に取り入れて、最高にうまい桃取の味をアピールしたいです。「島の旅社」計画はいい企画だと思います。できるなら多くの島民が参加できるようにと思います。”（桃取町）
 - アンケートを出しても、何をしても橋は架からないと思います。架かるものなら今までに架かっています。（桃取町）
 - 医療施設の整備、誘致を進めることや、水産物の市場施設の設置など、地元住民の生活環境をもっと良くしていくため、及び観光による水産業のアピールのためにも架橋の実現は必要であることを打ち出しては。（桃取町）
 - 自然美しくまた新鮮なもの、魚貝類あり。なんともいえない自然の美しさ。皆さんに見てほしい。（桃取町）
 - この島で獲れた物は味がよい（潮がよい）。おいしい魚貝、海苔、ワカメ、色々早く皆様に食べて頂きたい。早く食すればより美味しい。（桃取町）
 - 全国の離島架橋を実現した地域のよかったかわったかをよく聞き、参考として実現に踏み切ってほしい。（坂手町）
 - できれば離島架橋を実現した地域の情報を集めて鳥羽離島住民に知らせて欲しい。（坂手町）
 - 坂手島は温暖で老人には暮らしやすいので医療機関を持ってきて養老施設を集中的に建設し、老人を受け入れて若人の働く場所もそういうところに求め、年寄りの島を逆にアピールして架橋に結びつける。（坂手町）
 - 老人用厚生施設を多く導入し、老人保養の島とする。（坂手町）
 - 夜8時以降も自由に島を出入りできるまちづくり（坂手町）
 - 福祉の充実。高齢者が増えている今日、架橋することによって、夜間等でもヘルパー等のサービスが受けられる。高齢者およびその家族にとって優しい市（島）になってほしい。（坂手町）
 - 遊歩道とかサイクリング道路等の整備。本土では、海が前にありながら、海とふれあって遊べる場所がない。（坂手町）
 - 市営定期船に掛かる経費を長期的に見れば架橋でプラスになると思う。差別の大きな行政は早く解消してほしい。坂手～安楽島 or 美しま～佐田浜は距離にして300mくらいです。①浮き棧橋を並べて船が来れば通し、又、棧橋でつなぐというアイデアはいかが？安価です。②海底にパイプを引いて、管内を移動してはどうですか。（坂手町）
 - 自然の残っている島（坂手町）
 - 小さな工場をたくさんできるよう（坂手町）
 - サービスエリアでの地元特産品（島の特産品）の販売などによりアピールする（坂手町）
 - 今後の高齢化社会に備え、坂手町は温暖な土地でもあるので、大規模な老人福祉施設を造り、島内のみならず島外からも入所者を迎え、島全体を福祉先進地とする。（坂手町）
 - 坂手島の住人ですが、架橋を考えると島の問題というより鳥羽の観光の将来という視点から捉えていただきたい。これからの鳥羽の観光を考えると、なにより至近距離で目の前、真正面に見える坂手島の有効利用こそ鳥羽の観光の愛護の目玉だと思います。香港における九龍と香港島などをイメージしていただきたい。（坂手町）
 - 特に私たちの島は過疎化が激しく、鳥羽に最も近い島でありながら架橋ができず、漁業者よりもサラリーマンの多い当町にはもっと早く架橋の実現を望んでいた。40年くらい前に伊勢湾大橋の夢のような話もありましたが、当時、離島架橋から進行していれば既に離島架橋は実現していたかもしれません。日本中至る所に離島がありますが、三重県では少ない離島であります。離島振興法の適用を上手に活用し、昔からの離島の人たちの夢である離島架橋をぜひ早期実現に向けて頑張ってください。観光面でも絶対プラスになると思います。（坂手町）
 - 島から仕事に行くには時間が限られ、そのため若い人たちはみんな島を出て行く。橋でつながっていたら島から通え、人も減っていくことはないと思う。（坂手町）
 - 空き家、空き畑の改善（坂手町）
 - 離島型のデイサービス、センターの設置 グループホームの設置（坂手町）
 - 菅島の鶴田石材の跡地に産業開発になるような工場（風力、太陽光発電など）（坂手町）
 - ふるさと（菅島町）
 - やはり菅島では、ひじき、わかめ、あらめ等の海藻がおいしいので、島内で生産加工をできるようにし、

- 働ける場をつくり、地場産業を進めていかななくてはいけないと思います。（菅島町）
- 日本最古の灯台があっても、船だとまず車を置く駐車場代、船代が加わって、気軽に見学にこれない。遊歩道も新しく出来たので、もっと他町の人にも見てもらいたい。また、観光客が増えれば地産物も買ってもらえる。（菅島町）
 - しろんご祭の島（菅島町）
 - 海女の島（菅島町）
 - 人口の減少・高齢化社会、人口の3分の1が65歳以上の時代です。島外から多くの中高年の人々が島を訪れてくれるように菅島の財産である灯台、つげ山、採石場を生かした安らぎと憩いを感じる町づくりを目指してほしい。（菅島町）
 - 私の町は、本土とのお見合い等の行事により、人口が少しづつ増えています。また昔と違い、道路が整備されてきており、子どもたちが本土に住み込んで学校に通わなくても、家から24時間外出できる。私は、まちづくりの一步は、子どもたちが生き生きとスポーツでき、そして応援をしてやる。子どもの定着、人口の増加づくりを行う。（菅島町）
 - 本土に比べると、島の物資は、運賃代が高いし、自分の気にいった物がないということがある。その点、ちょっと島外へ車で走れば、安く買える店があり、さらに、競争店のあるところでは、時間内にいけば得をするといったように、天気は左右されず、また時間的にも余裕をもって、自分のことができるという本土と共通した良い面がある。また、島の足といえば船、北西の季節風が強い日、海の荒れた日など、島民にとっては、さかえられない自然のおきてなのです。ある日、子どもが熱が下がらず、夜中に自分の船を出して病院に連れていったこと。緊急の場合の時の「生活道路」があれば。（菅島町）
 - マリントウンも観光だけを重視していると、もったいないと思う。人が遊んで体験できて、くつろぎ、また来たいと思う場所や施設が必要。また親子、祖父母孫が交流して、今、なくなりつつある家族の絆、つながりをアピールしていけるまちづくり。ビルを造りつづけるのは、考えなおさなければと思う。マリントウンの一角に漁協市場を併設できないものでしょうか。海と景色のよさ、食材を生かしたまち。みんなでわが町の自慢をもう一度確認してみる必要があると思う。見過ごしてしまっている文化・建物・祭、失いつつある伝統と工芸品、街並みとか景色、古き良き物の保存の必要性。（菅島町）
 - 後は、ここに橋をつけるだけです。と言った具合に、島内の自動車道路整備を先に済ませてしまったらどうでしょう。（菅島町）
 - まちを繁栄させるための架橋は、将来、まちの活性化のために絶対必要である。自然とともに生活し、季節を肌で感じられる町です。自然の中で学ぶ子ども達。四季の魚をその場で食べられる町、自然の中での生活を都会で生活している人々に、自分自身の肌で感じられるまち。（菅島町）
 - 島民の高齢化に伴う人口の激減を防ぐのが当面の最重要課題である。後継者対策はもちろん、若者の島での定住を促進して本島からの通勤範囲を拡大して、老若男女が安心して生活ができる地域づくりが急務であると考えます。現状にこのまま年を積んでいけば、20年先には、この菅島はオバ捨て島になることだろう。是非とも、離島架橋を実現しよう。（菅島町）
 - 海、魚がうまい（ほっとして）リラックスできる町。つかれがとれます。（菅島町）
 - 私は、サラリーマン生活40年続けました。その間、離島で一番感じたことは、交通の不便さです。また、島外で働いても、時間に制限されて何かとうまくいかないことが多々ありました。島の活性化は、①島の産物があります。漁具、藻類の生産・加工販売の見直し、また、農産物とタイアップした直売、インターネット取引、観光客に対する誘因等。②若者たちの定着化である。架橋ができれば、時間の制限がなくなり、交通も便利になり、離島への定着が進むと思います。③高齢者の労働力を生かして、まちの活性化を図る。現在、高齢者は、どこの市町村も同じであると思いますが、まだまだ働けるものは、たくさんいます。島外へ働きにいかなくとも、島内で働ける仕事をつくる。農産物の直売、加工等。以上のことを頭に入れて、行政と交えて考えていけば道が開けると思います。（菅島町）
 - 伝統の祭（しろんご祭など）を全国的に宣伝して、もっともっと活性化したいです。依然よりは、何百人もの観光客が来るようになってきたので、もっとアピールしたいです。（菅島町）
 - 若者層のUターンの増加が日々目立ってくる今日。これを生まれ育った土地にとどめなければいけないと思う。県内での仕事はあっても交通便の時間的に無理が生じてくる。今は車がなければ働くことは出来ない時代。この年代になって思うのではなく、自然にそれが一番だと。県民の人情に接し、生活してきた我々にとっては。（菅島町）
 - まちづくりの前に実際に生活してゆくうえで、時間にしばられることが、大変不便である。今、生活している私たちは、なれもあるが、子どものことや将来のことを考えると、橋を建設していただき、時間の不便さを解消していただきたい。（菅島町）
 - 釣りでアウトドアが発展（菅島町）
 - 我が菅島の一本釣りは、まきあげ、大敷の魚と違い、一匹一匹、丁寧に取り扱っているので、一口食べればその違いは、一目瞭然のうまさである。この1本釣りの魚のうまさは、口で言っても信じてもらえないだろうが、是非、実際に食べてみてほしいと思います。そのためにも、橋は是非、必要であると考えます。（菅島町）

- 架橋ができれば、職業の拡大につながり、島の人々の増加と島の発展の力になる。（菅島町）
- 質問がおかしい。今頃、このようなアンケートをとるのはおかしい。架橋をかけての良い点とか聞くべきである。（菅島町）
- 島内にまちづくりプランがあるから、離島に橋をかけるというのではなく、橋をつくることで島にどんな経済効果が期待できるか。どんな未来が描けるかという質問にすべきであると思う。これでは、橋をかけようとする期待は少ない。問17はおかしい。（菅島町）
- 子どもたち、自分たち社会人のため（働らせる時間帯が長くなり、良いと思う。）島と島を結びつけることにより、離島のそれぞれのいいところが、より出てくると思う。鳥羽から一番近い島の順に橋をかけてほしいです。（菅島町）
- アイデアとかきれいごとではなく、離島のハンディを考え、人が生きる子どもが住むことを考えれば、現実問題としてマイナス面が大きすぎる。たとえば、交通によるコストの割高、緊急医療面、2つの経済低迷、賃金カットによる生活経費の高騰、税金は他と同じ、きれいごとではなく、衣食住に経費がかかりすぎ。このままでは沈没。（菅島町）
- 上の問いでも書きましたが、菅島町送電鉄塔付近は、月平均風速が7 m/s程あります。（平成14年度気象協会東海支部資料より）500kmクラスの発電機を4機程設置することは、条件的にはクリアされていると思われます。キャッチフリーズ風の島にからませて、風力発電の島とか、加布良古水道に潮流発電とか、自然にやさしいエネルギーを売りにしたらどうでしょう。（菅島町）
- 今は島を出てアパートを借りて仕事をしている人や、島出身の子ども達。島に帰るには、時間という大きな規制がある。何より1人1,000円近い金がかかる。数人の家族で帰ると大きな出費となる。不景気な昨今、それを考えると、やはり足も遠のくと思う。いつでも、何時でも好きな時間に気楽に島出身者が帰れて、昔のような人のふれあいがあり、にぎやかな街にしたい。（菅島町）
- 意味が少々違いますが、人口減少の理由として働く場がないという原因があると思います。架橋により人口減少の歯止めが期待できると思います。また、現在の定期船による通勤では、船代、駐車場代だけで3万円の経費がかかるため、島を離れる人が多くなると思います。私個人の場合、3万+ガソリン代+高速代で約6万円かかります。（菅島町）
- 通勤できないために、島には老人ばかり多くなり、祭等が活発に出来なくなっております。きれいな海で、海水浴ができ、魚つりが出来、新鮮な魚介類が食べられて、山には島を一周できる遊歩道があります。若者が帰ってくる島にするために、是非、橋をかけていただきたいと思います。（菅島町）
- 道の駅ならぬ「風の駅」（冬場には季節風が強い）等で、地元産の海産物の消費拡大を図る。（菅島町）
- 離島への工場または産業の充実を図り、島民及び地域住民の働く場所を確保していくことがまちづくりへの第1歩と考え、それによって、住民の増加または地元の経済活性化を図るものであると思います。また、外からの移住等も増えれば多種多様な意見が出て住みよいまちづくりができると思います。（菅島町）
- アピールも必要かもしれませんが、このままでは島にだれもすまなくなる。生活できる島としてのブリッジが必要である。生活できないところは、住居としてなりたないから、住める島として、一番最初にアピールは、行政と促進会で考える。（菅島町）
- 島には、自然や行事も積極的に取り組む姿勢があります。（菅島町）
- 一時砕石は、東洋1まで言われた。（かんらん岩）砕石を一時は、10種類まで作っていた。国鉄の線路の下に最も重要でした。（銅山も少々でた）一時、島内一周も考えたが実現できなかった。灯台は古いから、また、建築者が外国人であり、レンズはドイツ製である。（菅島町）
- 今は車の時代、緊急手段の時、船では不便。ましてこれから老人が多くなる。逆に島の若者たちが出て行くかもしれませんが、観光だけでなく、大きな産業をもってこななければ働く場がない。（菅島町）
- 今までは、漁港整備や建物の設計を中心に行われてきましたが、一番大事な交通機関に力を集中すべきであった。（菅島町）
- 法人が安全に暮らせるようにしてください。（菅島町）
- まちづくりまちづくりというが、今のままの町の状態で後の時代に残すことが、重要であると思います。素朴な漁村をいつまでも残して行ってほしい。開発するのもいいが、意味のない開発は、やめてほしい。これ以上、自然環境が悪化すれば、本土の町とあまりかわらなくなってしまう。（菅島町）
- 橋の要望が通ったとして実行までに10年、できたって、20年後の先はどんな世の中になっているかわからない。（菅島町）
- 橋づくりでもっと若者達が定着し、お嫁さんが来やすいまちづくり、明るい、まちづくりにしたい。（菅島町）
- 本当にまちづくりが必要であるのか、少し疑問に思います。それより、現在の生活の状況を真摯に訴えて、理解を得る方がベターだと思います。定期船の赤字、通勤通学費用、緊急時における交通手段など。（菅島町）
- 現在島では、若者の流出による人口が減り伝統のある島の祭典に行きづまりができ、町民一丸となって盛り上げておりますが、年々、年齢の高齢に伴い、参加者も減り、毎年同じ顔ぶれで頑張っ祭りを行っていますが、橋がかかり、就職先が近くにあれば、若者の流出も防げ、町にも活性化ができ、島

全体が昔のように明るい住みよい町になるのではないか。そういう意味でも、是非、島に橋をかけていただきたい。（菅島町）

- 交通機関の安定性（菅島町）
- 島の現状をどうして、これからのまちづくりのあり方について、住民のコンセンサスを早急に図り、推進すべきである。その際、住民のエゴは、計画の障害になるばかりでなく、将来のまちづくりに対して禍根を残すであろう。（菅島町）
- 若年層の定着です。（菅島町）
- これからの時代は、もっと活性化をしていくために、やはり交通が一番だいじである。（菅島町）
- 外観がいいのだから観光面でも、福祉施設、レクリエーション、スポーツ施設などの建設などで島をアピールする。（菅島町）
- 水産物出荷のスピード化。都市住民と島民の交流。有人4島の交流（菅島町）
- 島には、花嫁不足と後継者の問題があります。他町から離島へ移り住んだ人に意見を聞くと緊急な医療施設の不備が一番不安を覚えるそうです。離島架橋を実現し、そうした不安を一層する必要があるのである。（菅島町）

問18 離島架橋についてのご意見

- 生きていうちに実現して下さい。（答志町）
- 私の母は平成十五年93才の天寿を全うしましたが、特病の心臓発作のため、生死をさまよいながら晩年15年間に十数回の夜間ならびに早朝と橋が無い荒天にかかわらず救急船を走らせ母を励ましながら鳥羽までの時間の長さを思い知らされました。（答志町）
- 一市民として平等性の観点から是非とも架橋を望みます。治安が悪くなるから反対という意見も聞きますが、大多数の方が本土で暮らしています。地域交流を活発化させる事こそが市の発展にもつながることと思います。（答志町）
- 「通勤・通学面の高額な定期券、緊急時の医療問題、自営（水産業）業者より見れば、輸送コストの低減も計れ、その他メリットにつながることは多いが、直線的な道路でない島の交通事情から、本土よりの乗り込み車輛が増加すれば、交通事故の問題が大きくなると思う。カーブが多く、道路巾が狭いので、自然破壊と共に‘犯罪‘というものが入り込んでくることも考慮しなければならない。不便ではあるが、安心した島の生活が壊されてしまうだろう。」（答志町）
- 是非実現してほしい。（答志町）
- 「島民の生活には便利になるが、反面、交通事故、犯罪が増加すると思われる。観光・漁業といった産業にも様々な良い点、悪い点がある。そういった様々な問題点を総合的に話し合い、予測・判断する場が必要だと思う。」（答志町）
- 人口の流出をふせぐ為、早期実現を！（答志町）
- 答志島では色々な水産物がたくさん取れるけど、離島であるがため、流通が悪く、魚価の低価と資材の高価で、離島架橋を早くつくってほしい。（答志町）
- 「橋がもし出来たら、24時間通行出来るようにお願いしたいです。今現在島内に子供が沢山います。将来的に、夜中でも子供が病気になった時に病院に行ける事ができます。今現在答志島の病院がある（内科）けど、お年寄りの方しか行きません。幼児・赤ちゃんは、皆船に乗って病院に行きます。定期船は1時間に1本しか運航しないし、夕方になると運航しないです。普段から病院行きは大変ですね。便利性を考えたらぜひお願いします。よろしくお願いします。」（答志町）
- 架橋は前々からの私共の悲願です。橋がかかれば、息子等も家から職場に通えるし、高い家賃を払っているのに、生活も苦しいです。このままですと、この島は年寄りと空き家ばかりになってしまうのでは。（答志町）
- 「現在、幸いとも言えないけど、周りの島とくらべると、まだまだ若者も定着しているが、五年後、十年後の事を思うと心配です。結婚する嫁さんの80%が島外の人だと聞いております。女性に漁業できない人達の為にも地場産業をおこし、働く場を作る事も我々の責務ではないでしょうか。鳥羽磯部漁協の集約市場で魚類等の販売はできないか？最近、市場の変化で漁がけっこうあるのに安場安定みたいな感じです。観光客に安い時に新鮮な魚貝類を試食させて販売してみてもどうか。」（答志町）
- 反対（答志町）
- 鳥羽でのイベント会議、第一仕事のことで遅くなってしまうため、週に一日くらいしか利用しなくても、鳥羽の方へアパートを借りなくてはならなくて、色々とお金がかかります。（答志町）
- 「この島は、天皇の島であったそうです。島全体が御神体になるそうです。島を大事に考えて頂きたいと思います。この島を守っていくには、橋を架けるのは反対です。アピールしたいのは分かりますが・・・少数意見も無視せず考えて下さい！ P. S. 漁業の島なのに、橋をかけると他で働く人が多くなると思います。」（答志町）
- 島民の生活向上のため離島架橋の早期実現を切望します！（答志町）
- 1日も早く作って下さい。（答志町）
- 離島のつらさは、その島に住んでいる者にしか分からないと思います。生活のすべてに於いて不便であ

- る。海の時化している時に、急患者が出たときなどは、どうして島なんだろうとくやしい思いをした事が何回かある。人並みの暮らしをするにはどうしても架橋が必要。（答志町）
- 漁業を発展させるためにも早く橋を架けてほしい。（答志町）
- “以前から架橋の事について色々ありましたが、もっと早くからこのようなアンケートをとり、考えていただきたい（遅いくらいです）。離島架橋については賛成ですので、話を進めてもらいたいです。”（答志町）
- “架橋の計画は、遠きに失している。離島住民は宿命とあきらめているが、今迄行政が積極的に動かなかったのが不思議。架橋には、（－）面もあると思うが、（＋）の方が多く、離島が生きていくためにはこれしか方法がないと思う。今後計画等を知らせる時には素人にもわかるように完成図等で示してほしい。問15の促進協議会の人選に当たっては、任期のある団体等の役員ではなく、学識の有る人を選んでもらいたい。”（答志町）
- 海がしけて、船が出せない時が年間に何回もあり、急病人が出た場合には大変困ります。橋がかかっていたらこんな心配は解消されます。また、通勤・通学にも言えると思います。（答志町）
- 自分が仕事を見つける時、どうしても家から通勤しなかったのが、通える所を探したらどこもなかった。半年たってようやく知り合いの人にひろわれた形になったが、なければ家から本土へ出なくてはならなかった。橋がかかれば、そういう事もなくなる。若者も地元に残るのでは！（答志町）
- お年寄りの方の意見ではなく、これからの若い方の意見を尊重して下さい。（答志町）
- 本土に住む人と同じレベルで生活が送れるようにする為、緊急時や車検、買い物などで時間におわれたり、金銭面で通行料金がかかるのは差別されているように思います。安心して離島の生活が出来ないで早期実現をお願いします。（答志町）
- 私は、伊勢の高校でクラブをしていたのですが、夜遅くまでクラブをしていたので、答志から通うことはできませんでした。親はそのために、ないお金を出してまで私たちに寮生活をさせてくれました。これから答志から伊勢に通いたいと思う高校生もいるので、そのような苦しい思いを親達にさせないためにも早く架橋を作ってあげて下さい、お願いします。架橋ができるなら、若者達が少なくなる答志島にも残って伝統業もたえず、ずっといき続けていくと思います。これからの将来おじいちゃん、おばあちゃんだけの島にならないよう、いつまでも若者で活気のある島にするためにも架橋を作って下さい。（答志町）
- できれば早くに橋をつくっていただければ私らも安心してこれからも答志で暮らしてゆけそうです。（答志町）
- “今のままでは後継者が増えることは望めない。通勤・通学では島全体の費用を考えるととんでもない金額が計算される。下宿をさせれば食べ物、病気がいつも心配になる。今、東南海地震が心配されているが、大火災で多数のけが人が出れば、島内の人々では対応することは不可能に近い。島の人口が減らず、将来を明るくするためには離島架橋は必ず必要である。今のままでは50年先に夢はない。漁業従事者は現在の1/5いるだろうか？”（答志町）
- 本当に早期実現の確信はあるのか？（答志町）
- いろいろな面で、架橋の必要性が言われているが、従来からの伊勢湾口架橋の構想は、現在の国の経済状況にあっては、実現性に欠けると思う。本当にほしいのは、生活道路としての離島～鳥羽（神前崎でも可）である。国を含めた行政も、いつまでも実現困難なまぼろしの大橋の構想を改めて、生活面の視点でお願いしたい。答志から直接通勤、出発できれば、今の市営駐車場にも余裕はうまれ、鳥羽の駐車場難の解消にもつながると思う。（答志町）
- 架橋により町の活性化を望みます。治安の心配は出ると思います。若い衆が島に残ること。必要であり、早く頼みます。（答志町）
- 架橋により、若者の働く場をつくり、町外に出ないようになることと思います。水産振興のため、道路の幅を広くしてほしい。医療関係の不安がなくなる。是非、橋が架かってほしい。伊勢湾大橋を望んでいましたが、早く実現してほしい。（答志町）
- 早く橋をかけてほしいです。（答志町）
- 往復、約1,000円掛かって出かけます。また、鳥羽の駐車場代も月1,000円。平均家族4.5人が買い物に行っても、時間もかかりますし、老人・子供のいる家庭では、いざという時、船が出ないと大変困ります。少しでも、暮らしやすくなるよう、是非、実現させてほしいと願います。（答志町）
- 浜口光彦（元市長）のときに、このような架橋をつくる話があったのに、その時になぜ、未来のことがわからなかったのか。衆議院議員の三ツ矢さんに、是非とも力をいれてもらいたいです。成功しますように。（答志町）
- 早く橋をかけてほしいです。（答志町）
- 架橋より、高齢者福祉に目を向けるべき。（答志町）
- 自分としては、市にお金がないことは知っている。これは市・県が一体化となって何かをやらないと鳥羽はのびない。とは言ってもただの思いです。一つの考え方です。ほかの人に言えば、笑い話だと思います。（答志町）
- 架橋から釣ザオがだせる島を。（答志町）

- 早期実現を。 (答志町)
- 町づくりということより、子供が病気になったときにものすごく困りました。痛がる子供を朝まで抱き、船の時間まで待ったことなど、本当に困ります。老人の方が多くなっている、今、医療関係などを考えると、本当に架橋がほしいと心から思います。 (答志町)
- 一日でも早く架橋をつくっていただきたいと思います。 (答志町)
- 是非とも、離島架橋をつくってほしいと願っています。 (答志町)
- 行政分野から中央へ訴えかけるのも大切だと思うが、島民、市民、地元住民等の感心がまだまだ低いと思うので、まず、地元から盛り上がりを作る事が必要だと思います。 (答志町和具)
- 早く橋が出来ることをねがっております。 (答志町和具)
- このような質問はまったく心外であります。実現あるとは私は考えません、もっと鳥羽市の市政には大事な問題がいっぱいあると考えております。もうすこし市民、一人一人の幸せをいかにしたら実現できるかを考えるのが君たちの使命であると私は考えております。(答志町和具)
- できれば橋はかかれば大変助かる(急病の場合など)。これからは地元以外からのお嫁さんが多くなるので、行き来もしやすい。私の場合、大阪が実家で、実父の危篤の時、船で鳥羽まで送ってもらって電車に乗った。という経験があるのでつくづく思います。仕事面での流通も多くなり、市場が活気づくのではないだろうか。反面、子供たちの環境が変化するので少し不安もある。 (答志町和具)
- 将来の島の安定を守ってゆきたい (答志町和具)
- 問 16.17 のような 20~30 年先の話をしていたら和具地区は空き家、老人ばかりで橋が出来ても利用価値が無いと思う。今、出来る限り早く橋を作り若い人を家から通勤できるように！このままでは、水産業がだめになり、家の後継ぎがなくなり、老人の島になると思おう。 (答志町和具)
- 病気で救急車がすぐに来てくれる地域になりたい。しけで船の出せないとき無医村の人間は見殺しですか。市の施設も同じ税金を払っているのだから、同じように利用したいが船の時間とかがあると何も出来ない。 (答志町和具)
- 高齢化が進むこの先、子供(若者)たちが島に残りやすく出来るように橋を架けて欲しい。(答志町和具)
- なるべく早く欲しいです。 (答志町和具)
- 行政のお力も大ですが住民一人一人がよく考えて、多少のデメリットよりもこれからの島の将来のことを第一に、地元から持ち上げてどうしても作っていただきたいと思います。 (答志町和具)
- 最近では、漁業も水揚げが少なくなり、転職を考えている人も多いです。若い人は、島を出て、都会へ出てしまいます。そうなれば祭り事ができなくなっています。橋が架かれば好きな時間に行ったり来たりして、若い人は出て行かなくても良い様になります。 (答志町和具)
- 島が何かと進歩すると思う (答志町和具)
- 離島架橋、実現させて下さい。 (答志町和具)
- 一日も早く架橋を架けて欲しいと思っております、よろしく。 (答志町和具)
- 島民にとって大きな転機となる事を確信します。生活環境の効率化と多様化を進める架橋になる事は間違いないと思います。 (答志町和具)
- 架橋するよりも、地震津波時の安全な避難所を建てたり、老人施設(泊まれる)を建てたり、大きな島ならではの海産物をあつかう海鮮市場を造ったりしたら、働く場所もできるし、観光客も呼べると思います。あとは、定期船を安価にしたり、海上タクシー、駐車場をもっと手軽に利用(時間、価格など)できて島外へもっと自由に行き来できたら無理に架橋しなくても良いと思います。新鮮な魚介類、野菜、老人会の方々のわら、竹細工、ガイドツアー、ウォーキング、魚釣り etc. 島にはたくさん良いところがあります。答志島へ来たらコレがある！！みたいなものを発見できたらと思います。(答志町和具)
- お医者さまに行くのも便利になる。島の外にいる家族とも行ったり来たり便利になる (桃取町)
- やはり夜間、病気で大きな病院に行かなければならない時今は診療所も先生が泊まってくれていないので何かと心配です。前は週 2 日は泊まってくれたのですが、漁協の人に頼むのですが、とても気の毒で大風、大雨などはとても悪いので夜はとくに海を渡るということは大変で目など神経を使っていたので、乗せてもらう方も神経をつかいます。(桃取町)
- 今家には主人と私 2 人だけの生活です。年老いてどちらかが先立ち、一人になった場合に息子は本土にでて生活をしておりますので、心配になったときに夜仕事が終わった時に車で見に来てくれたり、病気の場合夜中でも車で連れて行ってもらえると思う。なのでぜひ架橋をお願いします。 (桃取町)
- 今、工事中のマリントウンをやめてでも、その費用で架橋を要望します。 (桃取町)
- 離島振興法で今まで特に漁村は漁港を優先に進めてきた。最近漁師をしている者も島から都会の方へ出る人が多い。町で働く人でも架橋が出来れば島に残る人も出来るのではないかと。早く実現する様お願いしたい。 (桃取町)
- 風の強い日に夜中に急病ができたときに船でいなくてもよい。通学に便利である。車通勤についても便利である。もっと早く橋を作ってほしかった。 (桃取町)
- 橋が出来たら島の人足の足がどうなるのか。車のある家は良いけど、車でいけない人の足。バスでも走ればいいですが、回数にもよります。船はどうなるんですか。橋のかかる場所が島の人が一番使用しやすい所にかけるんですか。 (桃取町)

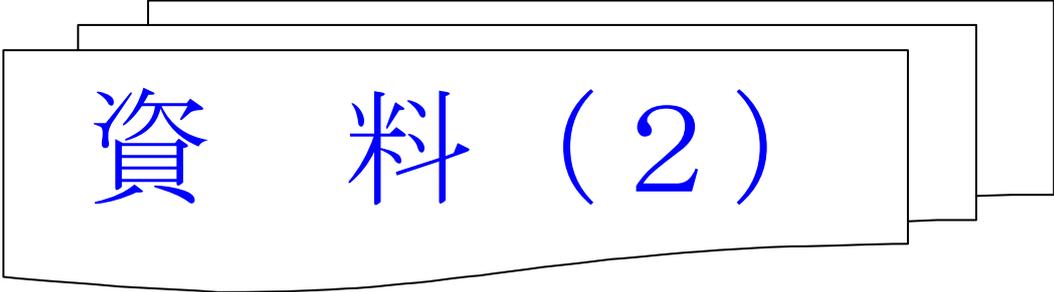
- 私達が生きている間に出来ないと思いますが、桃取には土地農地が荒れています。他所へ働きに行かずとも考えによって産業がひらけると思います。（桃取町）
- かけ声ばかりで他の地区より大変遅れている一日も早く実施して欲しい。市長も頑張って取り組んでほしいです。共産党議員の方の言うことは大賛成です。（桃取町）
- 今までこの問題について何十年も昔から市の関係者の方々、市議員の方々等、他県に視察され勉強されてきたと聞きます。その結果ぜひとも必要という意見が圧倒でした。それにもかかわらず、いまだ実現されず、他の施設（マリントウン21）など市民の数%しか賛成しない事業が着々と進み、橋を架けるお金などともあり得るはずがないと思います。こういう無駄が続くかぎり橋の実現は無理と考えます。（桃取町）
- 私の家族では、90才、70才、65才の高齢者ばかりで、この先どうやって生活または緊急の時どのように対処してよいか不安の毎日です。緊急の時はずそこまで車が入れるようにお願いしたいです。（桃取町）
- 名古屋から鳥羽までは近鉄特急で約1時間40分大阪方面からは約2時間。鳥羽から答志島へ渡るには今の定期船では都合が悪いと2時間待たねばいけない。これでは離島の活性化は無理でしょう。（桃取町）
- 島が若返るため（桃取町）
- 法律が平成15年に出来たのなら、なぜそのときにアンケートができないのか。やめていく市長が何をほざくのか。他にすること、考えることは、いっぱいあるはず。（桃取町）
- 是非とも実現に向けてほしい。（桃取町）
- 私は桃取出身で現在も在住しています。もし架橋が出来たとしても桃取は橋げたですよ。今の鉄塔より高くないと船舶の航行が出来ません。寝ている頭の上をゴーと音をたてて車が走るのみ。反対です。（桃取町）
- 私もう四十才をまわりました。生きている間に車で橋を渡りたいです。（桃取町）
- 時間がもう無い。一日でも早い着工をお願いするものであります。（桃取町）
- 船舶の運搬業者等は反対しますが、島全体を考えればイルカ島から答志島、浮島、牛島、平手岬へ橋をかけ、冬は歩き、夏は海水浴、浜遊び、海釣り大きな楽園地になると思います。（桃取町）
- あれば良しなくとも良し（桃取町）
- ぜひ早急の実施に向けて推進してほしい。（桃取町）
- 実現されるのであれば、一刻も早く。（桃取町）
- 私も中学校、高校、お勤め時代と船に乗り、毎日のように通いました。その時、最終が18:50だったので、クラブ活動、特につとめてからの仕事（棚卸し等）とかつきあいかものすごく制限されたものでした。もちろんとめてもらうところはありましたが、やはり気をつかいました。今、二人の子をもつ母として、子供にはそういう不便さ（本土の子供たちと比べると）を味わわせたくないです。遅くなくても、帰れる家であってほしいです。たとえ成人して島外へ出ようとも、学生のうちは。（桃取町）
- 昼間三時間船がないため、熱を出して医者に行った赤ちゃんを三時間も背負って待っていなければならなかったり、運賃が高いため、食材も高いです。本土の安い物に比べれば、二倍するものもざらです。ということは、食費も二倍かかってしまうということで、こんな状態では、若い人達は島から離れてしまうのも無理はないと思います。こういったことが架橋によりなくなれば、大変住みやすくなると思います。（桃取町）
- 架橋を実現する前に、もう一度市営定期航路の見直し救急時（病人等）の船やヘリコプター等の確保などをさせていただいたら橋は不用なのではないのでしょうか。橋ができたからと人口が増加するとは今住んでいる私達には考えられません。もし橋ができたなら私達家族も子供の学校の問題もあるので鳥羽または伊勢に引越し、漁師に通うという考え方です。それに橋によって、漁業の低下をまねけば益々桃取に在る必要はないからです。（桃取町）
- 先ず第一に地元負担金が住民にとって過度の負担とならぬようにという事です。特に年寄りだけの世帯とかは年金だけの暮らしですから、出来れば地元負担金が0に近いのが理想です。橋＝道路なのだと思います。第二に自然を破壊しないことです。人の手で壊してしまった自然は元には戻りませんから。第三に地元の業者を工事に優先させてほしいということです。「鳥羽民報」にのっていた良き先進地を十分に研究活用していただきたいと思います。（桃取町）
- 一日も早く実現してほしいです。（桃取町）
- 架かる橋なら早く実現してほしいものです。これからの若い人のためにも必ず実現してください。お願いします。（桃取町）
- 島で生まれ育った市外、県外に住むひとにも、架橋の賛同の協力をお願いするべきである。各地内会にもお願いし、年代別に代表者を決め、取りまとめてもらってはどうか。または離島の市職員を全員推進委員などに市長が任命して取り組ませるべきである。（桃取町）
- 離島架橋の話は出では消え、また出では消えてしまい、とてももどかしい思いです。全国の離島では桃取より人口も少なく本土から離れていても次々と橋がかけられ、とてもうらやましく思います。なぜ鳥羽ではなかなか実現できないのですか。年をとってからは遅いです。もういりません。子供

- が中・高校へ通学するようになったら本土へ移りたい気持ちです。橋がかかれば別ですが。（桃取町）
- 行く末には、島の人口がなくなり、この桃取町という町もないように思われてなりません。そのためには架橋というものがこの町には必要であります。これからの若い世代がこの町を引き継ぎ、時間などにとらわれず（特に定期船の時間帯）島から本土へと行き来が自由な生活、仕事の面、水産業の面、緊急を要する病人、まだまだ色々ありますが、とにかく離島に架橋を一刻も早く実現してもらいたい。（桃取町）
 - 橋もかけていただきたいですが、定期船の増発、船代の値下げ、離島地区における駐車場代の割引きなど検討していただきたいです。（桃取町）
 - 病気の起こるのは、時間は決まっていない。夜の急病の場合病院に速く着きたい。救急車が玄関に来てほしい。年寄りが多くなってきた今日、ぜひとも橋がほしい。盆や正月に帰ってゆっくりできない。いつも来て、好きな時間に帰るようにつくってほしい。（桃取町）
 - 負担金が大になるとやはり住民の中にも賛成から反対になってしまう方も多くなると思うので、負担金なしで橋を架けてもらいたい。（桃取町）
 - もっと早く架橋の事をして欲しかった。町内会、婦人会、漁協が一体となって早く橋が架かるようにして欲しいです。（桃取町）
 - 若者が流出のなか架橋が出来れば、通勤が可能な限り若者が残ると思いますし、産業面でもいいんじゃないですか。（桃取町）
 - とくかく我が目の黒いうちに実現してほしいです。（桃取町）
 - 子供達は外へ出て行き年より島になってしまう。若者たちも帰ってこれるように一日も早く橋が架かる事を願う。急病の時船が出せないと困る。（桃取町）
 - 架橋によって島のイメージが大きく変わる。人の手の入った自然はいかなものか。島が島でなくなる。島のほこりがなくなる。（桃取町）
 - 今、交通は9往復の定期船で便利に本土へ行けます。橋が出来れば、当然定期船は出航しないと思います。バス交通になれば、かえって不便になるような気がします。それだけの回数が出来ないと思います。（桃取町）
 - 本当に実現できるのでしょうか。積極的にしないと、いつまでたっても実現できません。（桃取町）
 - 活動時間、範囲が広がるから必要。（坂手町）
 - 架橋ができることで船の便数が減るのならば、バスなどを運行するとか、交通手段は今よりも充実したものにしなければ架橋をする意味がないと思います。（坂手町）
 - 現在、長男は伊勢に住んでいます。もし橋がかかれば島に帰ると言っています。早く実現してほしいです。（坂手町）
 - 実現は難しいと思いますが、根気強く架橋を実現させてほしい。（坂手町）
 - 64歳、生あるうちに架橋を！！（坂手町）
 - 離島住民のための橋はせめて20年前には実現してほしいです。橋があればクリアできる問題が多いので、早急に実現させてください。（坂手町）
 - 現在、他の市・町との合併が進められているのに、鳥羽市が敬遠される理由は離島のせいか？？離島が宝の島にならない限り、鳥羽市の将来が不安です。公共競馬も危うくなる現在ですが、「カジノ」の導入はどうでしょう。思い切った方向を示さないとジリ貧になるのでは。中部国際空港からお客を招くのも・・・。（坂手町）
 - 何十年も前から橋をかける話があってもなかなか実現できそうにないので鳥羽や伊勢に家を建てて住もうと思っている。8時まで船があってもそれ以降仕事で遅くなっても帰れないのは本当につらい。橋がかかるとのを待つより、家を建てるほうが現実的である。自分たちの子供が大人になるまでにかかるのか、あまり期待できない。（坂手町）
 - 今回のアンケートが1回で終わることのないよう、協議を重ね、促進してほしい。（坂手町）
 - 架橋にはとても賛成です。私は、元、伊勢の大湊出身で、橋一本でつながっているところに住んでいました。離島に住んでみて、橋の大切さがわかったのです。架橋することで少し治安が悪くなるのが心配です。各島に駐在所を設けたほうが良いと思います。架橋することによって、デメリットよりもメリットのほうがきっと多いはずです。（坂手町）
 - 体験しなければわかりませんが、あの4～500mの海が繋がっていないために仕事盛りの時は苦しみました。又、異常な天候の時ほど病人が出ました。架橋は夢でした。しかし、坂手は人口減が著しく、今更なんだと思いました。先人の思いも込めて早く架橋工事をしてください。（坂手町）
 - 架橋とは夢の夢である。運動をしてもできるものではない。（坂手町）
 - 早期実現をお願いします。（坂手町）
 - 観光ばかり力を入れるな。若者が島から外に出ないよう地元産業に力を入れてください。（坂手町）
 - 島内で女性が働くことができるよう（坂手町）
 - 安全な橋を造ってほしい。（坂手町）
 - 他都市は何本も橋がかかっているのに。鳥羽市はきれいな橋をかけてください。（坂手町）
 - 今更遅い。（坂手町）

- 待ち望んでいる架橋ですが、地元負担なしで工事してください。（坂手町）
- 離島の住民であるがために本土並みの生活が阻害されていることは、一種の差別であるとも言える。架橋により、本土の人たちと同じような生活を保障されるためにも市または県による今一層の国への働きかけが最も重要であると思います。（坂手町）
- マリンタウン21の計画を進める前に離島架橋の計画をもっと進めるべきであったと思う。少しの時間の違いで定期船に乗り遅れてしまって島に行くことができず、佐田浜で1～2・3時間次の船までの時間の長いことと言ったら、目の前に島が見えていてもどうしても待たなければいけないこの不自由さは島の人でないと実感できないと思います。（坂手町）
- アンケートを書かせたからには必ず実行するようにお願いします。（坂手町）
- 離島架橋は島の生活道路の視点でなく、観光立県、立市を目指す三重の、鳥羽のという視点から大いに推進していただきたい。（坂手町）
- 世の中、景気・不景気は昔からの繰り返しです。先の長い将来を見つめてことを進めなければなりません。私たちが生存していないかもしれませんが、30年後、50年後、100年後の鳥羽を考え、今やるべきことは何かよく見つめて関係者とよく相談してください。県の職員も市の職員も自分たちの時代のことだけを中心に考えては駄目です。先の長い子孫のために将来の鳥羽を考えて検討してください。（坂手町）
- アンケートや橋がどう、だけの話で終わらずにできるだけ早く橋をかけてほしい（坂手町）
- 問17の対策が具体化、実施後に行うべし（坂手町）
- 架橋して欲しいと言うだけではなく、協議会などを設けてその（架橋の）必要性をアピールする。協議会は、行政、議員、住民代表等で構成し、架橋の実施された島を見学したりして大きなうねりとしての運動を展開する。（坂手町）
- 架橋よりトンネル（坂手町）
- 賛成した場合→犯罪等が心配、他の人が多く入ってくると島が島らしくなくなるような気がする。反対にした場合→生活等、働く所が不便（菅島町）
- 早期実現に向けて行政の素早い行動を期待します。架橋実現までには、時間がかかるのであれば、離島の交通手段に格差があるのは絶対おかしいと思うので、全島が最終運航時間を同じにしてほしいと思います。（菅島町）
- やはり、島の発展のためには、架橋は出来るだけ早く実現してほしいと思います。島民が声を大にしないではいけません。（菅島町）
- 鳥羽市には、4つの離島があります。離島架橋が現実的なことならば、4島全部に橋をかけるべきだ。（神島は難しいけど。）そうでなければ、架橋でなく、他の方向で離島振興を考えるべきだと思います。（菅島町）
- 橋ができると島外の人も多くなると思うけど、通学・通勤はとても便利になる。子どもが就職しても、アパートとか考えなくてよい。特に今の時代は、とても珍しい事件とかあるので、とても心配である。島内であれば、誰ともわかるし、島の人々が協力しあえ、安心感がある。今まで以上に島の人が、一致団結すると思います。花嫁も増えると思います。（菅島町）
- 安楽島から菅島に一日も早く橋をかけてください。（菅島町）
- ぜひとも実現してほしい。子どもたちの教育面では、クラブ活動ができなくて、下宿や寮生活をさせないと学校に通学できません。通勤などでも残業などもできるし。（菅島町）
- 架橋は賛成ですが、何年先かわからないので、年をとっている者は、今の若いものに任せます。（菅島町）
- 架橋のメリット・デメリットについて、すでに実現している地域の実情を住民に説明してもらいたい。（菅島町）
- 最近、学校を出て都会へ働きに行く若い人が多くなり、車で行けるようになる。一日も早く架橋ができてほしい願いである。島の発展になる。（菅島町）
- 離島、本土に若い者達の働く場所が無いため、名古屋方面まで出ていかなければならない状況に追い込まれ、離島に住む人が少なくなり、空家が増えるのは、老後に人だけが残り、最悪の状況に落ちるのではないのか。そのためには、離島に架橋をかけ、人口の定着、Uターンの増加を図り、若者たちの働くまちづくりに力を入れたらどうか。（菅島町）
- 鳥羽から伊良湖に大橋の構想ではあるが、あまりにも構想期間が長すぎるのではないのか。海底調査、風力、地形調査は、20年前に終わっている。橋を架けるには、何の支障はないというのに、それ以上進展することなく、今日に至っている。「橋はいらない」という島民はいないはずだ。ほとんどの島民は「早期実現離島架橋」を望んでいる。もはや、鳥羽、渥美町だけの問題だけでない。今が愛知・三重に架ける伊勢湾大橋だ。（菅島町）
- 本土への人口流出（働く場所、地域が限られてくるため）を防止するためにも、少しでも早く実現してほしい。（菅島町）
- 架橋の場所を位置づけて、前面に出しながら運動や署名、その他の活動をしていかないと意見の出しようもないし、住民意識の向上も、ともなっていないので、目標を立てて行動していく姿勢が大事。そうでないと、40年前の伊勢湾架橋の二の舞になりかねないと思うし、二度と失敗はしないよう頑

- 張っていかなければならない。得るものもあれば、失うものもあることを心にしないといけない。架橋とともに、空洞化しないよう、人の集まってくる場所、施設を考えて市づくりをしていかなければと思います。（菅島町）
- 問17に「時代の変遷により・・・」とありましたが、なぜ、今まで本格的な動きが無かったのでしょうか？急速な過疎化や雇用の確保、交通整備などは島内をどのように改善したところで根本的な解決にはなりません。島内に新たに離島をつくり、そこへ島内から橋を架けない。そんな橋は望んでいません。我々は本土と結ぶ橋がほしい。幼少よりの願いです。ほかには何もありません。子どもたちのためにもお願いします。（菅島町）
 - 早期実現（菅島町）
 - 一日も早い実現を希望する。（菅島町）
 - 過去に湾岸道路というような夢の話におどられました。架橋という話が出てきましたが、現実には橋がかかり、車が走れるようになって、物事が始動するのではないのでしょうか。そして、橋ができたお陰でという実感がわいてくるのではないのでしょうか。（菅島町）
 - 是非、つくってほしい。（菅島町）
 - 是非、実現を。（菅島町）
 - 本当に早く夢で終わらずに出来るように協力していきたいです。（菅島町）
 - 当町では何十年前から話はでていて、一年でも早く実現に向け進めていただきたい。自分たちの子どもたちのためにも。若年層の人たちに我々の思いはさせたくない。（菅島町）
 - 離島架橋という名前になっていますが、私の理想とするところは、伊勢湾大橋で東京方面との距離が縮まることに大変意義があると思う。伊良湖～神島～菅島～答志～小浜を望む。（菅島町）
 - 大変厳しい財政事情であるが、一日も早い架橋実現に努力してほしい。（菅島町）
 - 小学校での思い出に山の人に知ってもらい、釣りを楽しんでもらう。（菅島町）
 - 一日も早い実現を。（菅島町）
 - 離島架橋の話は何十年前から話が出てはいるが、具体的なことは何も進んでいない。（菅島町）
 - 離島に是非架橋をかけてほしいです。これからの子ども達の未来のためにも、橋をかけることによって、絶対、何かが変わるはずですよ。お願いします。（菅島町）
 - やる気になればもっと積極的に大胆にやってほしい。言葉・理屈ではない。住んでいる人しかわからない。子どもとも脱出しなければこの島を！自然・美しいだけでは生きていけない。税金も払えない。（菅島町）
 - 少子・高齢化がどんどん進んでいます。若年層の働く場の確保定着に向けて、あらゆる方法を考えていく必要があると思います。早くしないと島に住む人がいなくなってしまいます。（菅島町）
 - 私は、今は亡き、2親供、救急車を利用しました。船で本土へ着くまでの時間という大きなハンディがあると思う。助かる命も、もしかしてダメになるかもしれない。やはり、救急車は、家のまえまで来てほしい。人間の命、ハンディなしの平等な条件であってほしい。（菅島町）
 - 早期実現を要望（菅島町）
 - 架橋でアピールするアイデアはすぐに思いつきませんが、やはり、橋はかけてほしい。たとえば病院に行くにしても、緊急な時など、やはり不便を感じる。せっかく地方からお嫁さんがいっぱい来ているのに、これでは絶対ダメだと思う。特に仕事や学校の面では、自由がきかない。これからの子どもたちのためにも早くしてほしい。菅島の人口は、どんどん減少してしまいます（菅島町）
 - 早期実現は、皆の希望だと思いますが、各離島に実行委員のような係りを3名ほどで立てて、月に一度ほど、会議を開いた方がいいと思います。（菅島町）
 - 坂手・菅島・神島・答志の全てに橋がかかるように。（菅島町）
 - 架橋ができるについて、心配なのが犯罪、治安の悪化です。そこで、橋ができれば、出入り口の監視体制等をしっかりしてもらいたい。（菅島町）
 - 鳥羽 坂手 菅島 神島 伊良湖 のルートにして欲しいです。（菅島町）
 - 現在、伊勢市内の病院へ透析治療に通院中（週に3日）であるが、定期船の時間の都合で、朝7：10で行くと、帰りは5：00になるので、半日の治療が1日になってしまう。架橋があれば、いつでも帰れるのにといつも思う。一日も早い架橋を望む。（菅島町）
 - みんなの夢がある。（菅島町）
 - どうせ、橋をかけるのであれば、島を一周（答志・菅島・坂手・を結ぶ）する路線で考えれば、島全部を1つの大きな町と考えることができ、情報交換など活発になると思う。（菅島町）
 - 人間として、3分の1のハンディをせおって生活していると思います。極端ですが、1年365日を生きたために200日分しか、人生を楽しみ、苦しみをあじわっていないと思います。橋ができれば、もっと、いろいろな体験ができると思います。（菅島町）
 - 架橋を実現しても、近いところに働くところがありません。架橋より、働く場を考えてほしい。（菅島町）
 - みんなの島が良い方向になればよい。（菅島町）
 - 住民の熱がさめないうちに話を進めてほしい。（菅島町）
 - 強く反対します。（菅島町）

- 鶴田石材が全盛期のとき、社長が安楽島からハッケ鼻までの450mを車と人が通れるつり橋をつくったらという話があったが、町内会が反対したので実現できなかった。日鉦山（今、第1銘柄）も1ヶ月間位、3人の調査員が来た話があるが、実現できなかった。昔の人は、先のことがわからなかったのではないと思う。（菅島町）
- 早く実現してほしい。（菅島町）
- たとえば、坂手島へ架橋をかけて、鳥羽の大きな観光名所が水産業なのに、大型観光船とか佐田浜では小さい。離島から佐田浜に着くと駅とか駐車場がだんだん遠くなる。老人とか車椅子の方が不便になっている。漁船が着岸できるところが少ない。（菅島町）
- 赤字財政の定期船を早急に架橋に変えて、交通の便を良くすることと思います。天草5橋は、良い考えだったと思います。伊勢湾口道路に迷わされすぎた。（菅島町）
- 他県から嫁いできて、想像以上に離島の生活に不便さを感じています。交通手段が船しかないのにもかかわらず、本数の少なさ。高い船賃。体調が悪くグッタリしている子供を市外の夜間救急病院へつれて行くのがどんなに大事な事か考えてみてください。日本国内には、たくさんの島々がありますが、鳥羽の離島よりも小さい島にも橋が架かっている所もあります。早急に架橋の準備を進めていただきたいと思います。（菅島町）
- 答志島～小浜 菅島～坂手～鳥羽の同時進行で早急に実現してほしい。（菅島町）
- 早く離島架橋を実現してほしいと思います。そうでないと段々と人口減少が進むばかりです。（菅島町）
- 橋のない今の生活が一番。（菅島町）
- 橋をかけて山や海のゴミが今以上に増加しないかな。橋をかけて島にきちんと降りられるよう、本土に老人でも出かけられる工夫をしてほしい。（菅島町）
- 今は車時代。伊勢架橋に限らず 鳥羽～坂手～菅島 鳥羽～答志島架橋を実現できればいいと思う。（菅島町）
- アンケートのみに終わらず、必ず、橋を実現していただきたいと思います。若い人が島内で生活でき、かつ、仕事も通勤できるように改善してください。（菅島町）
- 離島架橋は、切望しますが、これにより、島の生活実態を変える必要はないのではないかと思います。いかに現在の状況を維持し、アピールするかが観光客誘致につながると思います。（菅島町）
- 地元産業の振興を第1と考えますが、現在の魚値の安定性がなく、新たな販売手段を取り入れてほしい。今の市場の状況では、魚の値段が安く、漁師の生活が非常に苦しい。自分のとった魚は、自分で売るようにしたいと思う。（菅島町）
- 現在、国・県・市においても、非常に苦しいとは思いますが、是非、架橋の実現をお願いします。（菅島町）
- まずは、橋をつくること。（菅島町）
- 基盤産業が海況の悪化で将来に展望を見出せない状況が続くなかで、少子高齢化が進捗しており、島の活力が失いつつある。このような中において、架橋を要望し、実施するまで、この先、何年かかるか目途もないが、それでも住民は何かの希望をもって、架橋建設に結びつくよう活動を進めていかざるを得ないであろう。（菅島町）
- 住民の意見を納得のいく話し合いをもってほしい。（菅島町）
- 早く実現できるように働きかけよう。（みんな）（菅島町）
- 定期船のコスト削減し、便数を増やし、船代も安くすれば、島での暮らしも便利になり、活性化すると思います。何十年立っても実現しない架橋。何十年かけて地元産業の活性化に力を入れれば離島の暮らしも良くなるのではないのでしょうか。橋がかかれば便利になり、うれしいですが、緊急時以外の定期船がもっと使いやすくなれば、ほとんどの問題はクリアできていくような気がします。道路沿いでのお年寄りの日向ぼっこ。戸締りをしなくてもいい生活。すばらしいと思います。架橋より漁業に力を入れてほしいです。橋がかかり、一家に1台の車を持ち、駐車場は。山をくずすんですか。海を埋めるんですか。本当に島は活性化するんですか。問題、事故、事件もおきて、ずっと続くような気がします。人も時代も変わってきています。考えも変えてみたら。なんて思います。（菅島町）
- 子供の通学、クラブ、仕事、医療、物資の輸送。人間の物の考え方、趣味、余暇など。数えだしたらきりが無いほどあると思う。多少のリスクはあると思うが、この島には絶対、橋が必要だと思う。若者、子供達の定着のためにも是非、お願いしたい。（菅島町）
- 離島4島を結ぶ架橋が望ましい。（菅島町）



資料 (2)

アンケート調査表

離島架橋に関する離島住民アンケート

平素は、離島振興の推進にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

離島架橋は、離島と本土との移動を24時間可能にする陸上交通を確保するとともに、離島地域の後進性を根本的に解消するという面から、離島住民の架橋への期待がますます高まってきております。

そこで、このアンケートをはじめ、離島振興に係る諸事業を積み重ねながら、国等の関係機関に働きかけ、また、住民の方々の離島架橋への再認識をお願いし、架橋の必要性を浸透させ、今後の事業に活かしたいと考えております。

つきましては、お忙しい中、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨にご賛同のうえ、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成17年2月

全国離島振興鳥羽協議会

会長 鳥羽市長 井村 均

(参考)

新たな離島振興法は、平成25年3月までの10年間の時限立法としまして、平成15年4月に施行されました。

新しい離島振興計画は、地方分権の流れの中で地域における創意工夫を生かしつつ、その自立的発展を促進するため、国が離島振興の基本方針を定め、都道府県は市町村振興計画の案に基づき作成するとされました。

このことから、計画案の作成にあたっては、住民の方々と膝を交えた意見交換会を行うとともに、策定委員会の開催やパブリックコメント（計画案作成における島民からの意見の聞き取り）を実施するなど、住民の方々の意見を伺いながら作成いたしました。

これまでの本市の離島振興施策は、漁港整備などを中心に推進してきましたが、新しい三重県の離島振興計画においては、特に住民のご意見が多く悲願でもある「離島架橋」が初めて明記されたところであります。

離島住民が切望する離島架橋は、我が島では、このような「島づくり」「まちづくり」を住民とともに日夜努力しており、その最終的な目標として、離島架橋が必要であるという、島づくりへの理念、架橋への切なる思いを取りまとめ、関係機関に発信する必要があります。

「回答にあたって」

1. 回答については、ご記入される方個人のご意見で結構です。
2. 回答については、該当する選択肢の番号に○をつけるもの、順位の欄に該当する番号を記入するもの、枠内にお書きいただくものの3種類があります。各質問項目には回答方法が明記されておりますので、その方法に従ってください。
また、「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容をお書きください。
3. ご回答者にあつては、答志島、菅島、坂手島に在住の20歳以上の方であれば、どなたでも結構です。調査様式は出張所に設置してございます。
4. ご提出期限 平成17年2月28日(月)
5. ご記入後は、出張所又は町内会にお届けいただきますようお願いいたします。

このアンケートについてのお問い合わせは、下の連絡先までお願いします。

「連絡先」

担当者：全国離島振興鳥羽協議会（鳥羽市企画課内） 25-1101

●回答者ご自身について

問1 あなたご自身についておたずねします。(1)から(7)までそれぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) あなたの性別

1. 男

2. 女

(2) あなたの年齢

1. 20歳代

2. 30歳代

3. 40歳代

4. 50歳代

5. 60歳代

6. 70歳以上

(3) あなたのお住まいの地区は

1. 答志町

2. 答志町和具

3. 桃取町

4. 菅島町

5. 坂手町

(4) あなたの居住年数は

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上 10年未満 |
| 3. 10年以上 20年未満 | 4. 20年以上 |

(5) あなたのご家族は、何人家族ですか。

{ 人 }

(6) あなたの職業

- | | | | |
|---------|-----------|-------------|--------|
| 1. 漁業 | 2. 飲食・宿泊業 | 3. 製造業 | 4. 建設業 |
| 5. 卸小売業 | 6. サラリーマン | 7. その他サービス業 | |
| 8. パート | 9. 学生 | 10. その他 | 11. 無職 |

(7) あなたの昼間における日常生活は、本土と離島のどちらを主としていますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 離島 | 2. 本土 |
|-------|-------|

●ご家族について

問2. 同居されているご家族の中で、島外等に通勤または通学されている方がいらっしゃる方にお伺いします。いらっしゃる場合は、あてはまる番号に○をつけ、{ } に人数をご記入ください。（この問いについては、ご家族の方でこのアンケートを答えている場合は、お一人のみをお願いします。）

(1) ご家族が通勤されている方の人数は

- | | | |
|----------------|------------------------------|----------------|
| 1. 鳥羽市内 { 人 } | 2. 伊勢市内 { 人 } | 3. 志摩市内 { 人 } |
| 4. 市内離島 { 人 } | 5. その他 {市町村名：() 人 } | |

(2) ご家族が通学されている方の人数は

- | | | |
|----------------|------------------------------|----------------|
| 1. 鳥羽市内 { 人 } | 2. 伊勢市内 { 人 } | 3. 志摩市内 { 人 } |
| 4. 市内離島 { 人 } | 5. その他 {市町村名：() 人 } | |

●島の暮らしについて

問3. あなたは、現在の島の暮らしについて、どの程度満足していますが。（○印1つ）

- | | | | | |
|---------|---------|-------|---------|---------|
| 1. 大変満足 | 2. まあ満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 全く不満 |
|---------|---------|-------|---------|---------|

問 16. あなたの住む島にキャッチフレーズをつけるとしたら、どのようなキャッチフレーズが良いと思いますか。あなたのお考えを次の枠内にお書きください。

例えば：神秘の島、海女の島、など

[]

問 17. 全国の離島架橋を実現した地域では、架橋を要望しながら、息長く活動をし続け、架橋建設に結び付けてきましたが、時代の変遷により今日では、「島にこのような町づくりがあるから架橋が必要である」というように、町づくりを前面に出す必要があります。そこで、離島架橋をアピールするための町づくりへのアイデアをお持ちでしたら、そのお考えを次の枠内にお答えください。

[]

問 18. 離島架橋について、ご意見がありましたら次の枠内にご記入ください。

[]

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

「まとめ」

今回の調査では、回収率が50%弱ということもあり、この結果が島民全ての意見であるとは言い切れないが、回答された方の多くが、離島架橋に対して賛成意見である。

また、離島架橋を促進するための何らかの組織の必要性も認めており、今後、市・関係団体・地域住民が一体となって活動することが重要である。

また、回収率については、アンケートの質問内容及び回答方法が難解なところがあったことも影響していると思われることから、今後の調査では充分配慮することが必要と思われる。

しかし、特筆すべき点として、問 16 からの島のキャッチフレーズ等の記述回答の多さがあげられる。

これは、地域住民の郷土に対する愛着心と離島架橋に対する関心の高さが現れていると考察することができる。

離島架橋に対する賛否においては、100%の賛成という結果ではなかったが、今後、離島架橋の必要性を上位機関へ陳情するとともに、賛成以外の方を“賛成”という方向に持って行くことが重要である。

そのためには、行政・地域住民が一体となり、離島架橋についての“勉強を行うこと”もさることながら、それらの行動や活動を持続・継続することが最も重要である。